

内外経済動向

2024年10月

経済産業政策局 調査課

OECD世界経済見通し（2024年9月25日公表）

- 9月25日に公表されたOECDの世界経済見通しでは、**24年の世界の実質成長率見通しは3.2%と前回（24年5月:3.1%）から上方修正。**
- 欧米でインフレが落ち着き、中央銀行が利下げ方向に政策を転じたことで、安定した成長の見通しが示された。
- 日本は24年1～3月の景気減速を背景に下落。25年の成長率は、24年の景気減速の反動により、上方修正。

	2024年成長率見通し				OECD 2025年成長率見通し	
	OECD		(参考) IMF (2024年7月)	(参考) 世界銀行 (2024年6月)	(2024年5月)	(2024年9月)
	(2024年5月)	(2024年9月)				
世界	3.1%	↗ 3.2%	3.2%	2.6%	3.2%	→ 3.2%
先進国	-	→ -	1.7%	1.5%	-	→ -
日本	0.5%	↘ ▲0.1%	0.7%	0.7%	1.1%	↗ 1.4%
米国	2.6%	→ 2.6%	2.6%	2.5%	1.8%	↘ 1.6%
ユーロ圏	0.7%	→ 0.7%	0.9%	0.7%	1.5%	↘ 1.3%
新興国・途上国	-	→ -	4.3%	4.0%	-	→ -
中国	4.9%	→ 4.9%	5.0%	4.8%	4.5%	→ 4.5%
インド	6.6%	↗ 6.7%	7.0%	6.6%	6.6%	↗ 6.8%
ロシア	2.6%	↗ 3.7%	3.2%	2.9%	1.0%	↗ 1.1%

(資料) OECD「Economic Outlook」(September 2024)

※(前回見通しと比較して) ↑:上方修正、↓:下方修正、→:横ばい。

※ハイライトは今回公表分

日本經濟

米國經濟

中國經濟

歐州經濟

9 月月例経済報告の概要（9/18公表）

<総括判断>（変更無し）

今月

景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。

- (今年8月) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
(今年2～7月) 景気は、このところ足踏みが見られるが、緩やかに回復している。
(昨年11～今年1月) 景気は、このところ一部に足踏みが見られるが、緩やかに回復している。
(昨年5～10月) 景気は、緩やかに回復している。
(昨年3・4月) 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
(昨年1・2月) 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

<先行き>（変更無し）

今月

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

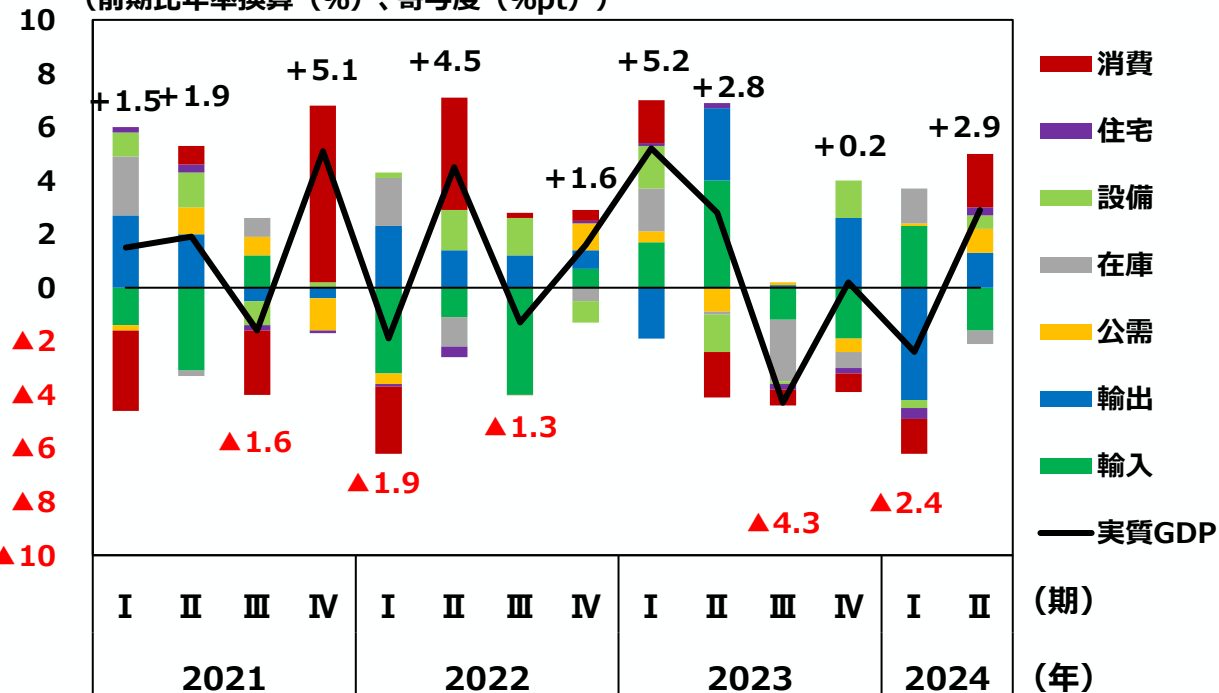
ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

GDP

- 2024年4-6月期実質GDP（2次速報値）は、1次速報値に引き続き2四半期ぶりのプラス。
- 民間消費や公共投資などが寄与し、実質GDP前期比+2.9%（年率換算）。
- 年率換算では、名目で607.6兆円、実質で558.1兆円。コロナ前水準に回復。

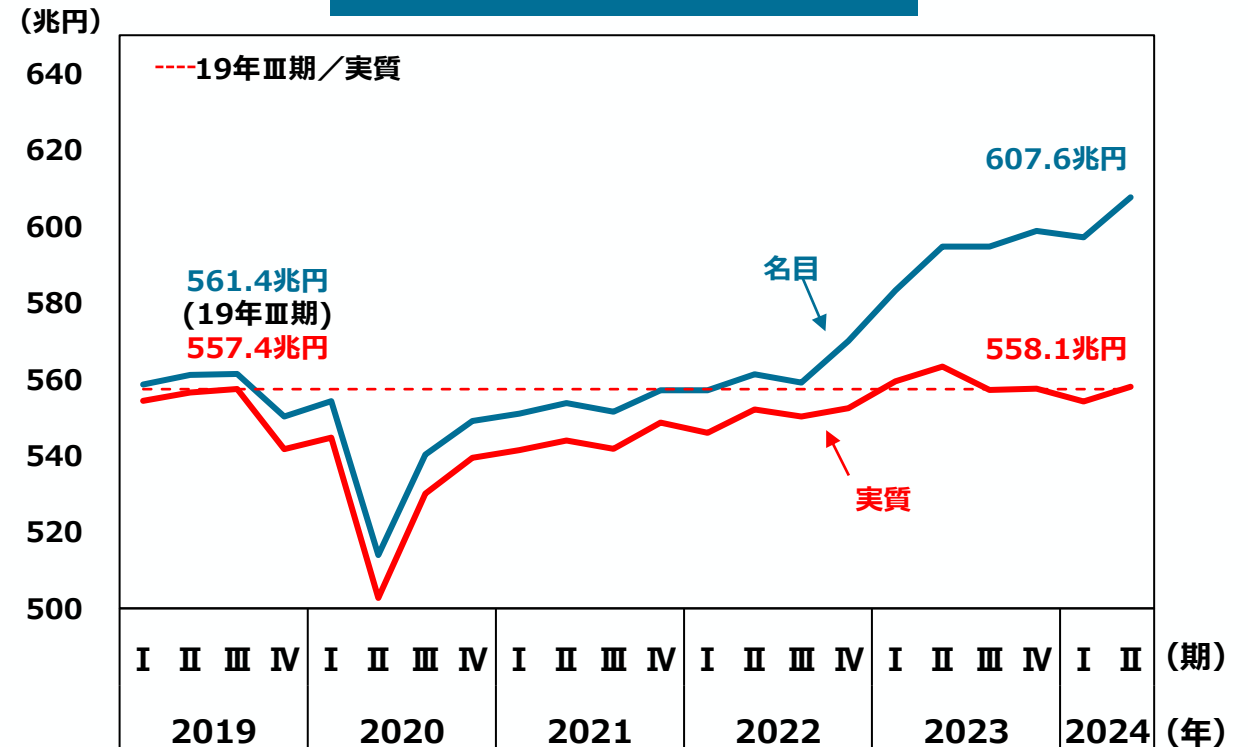
実質GDPの成長率の推移（年率換算）

（前期比年率換算（%）、寄与度（%pt））



（資料）内閣府「国民経済計算」2024年9月9日公表（2次速報値）

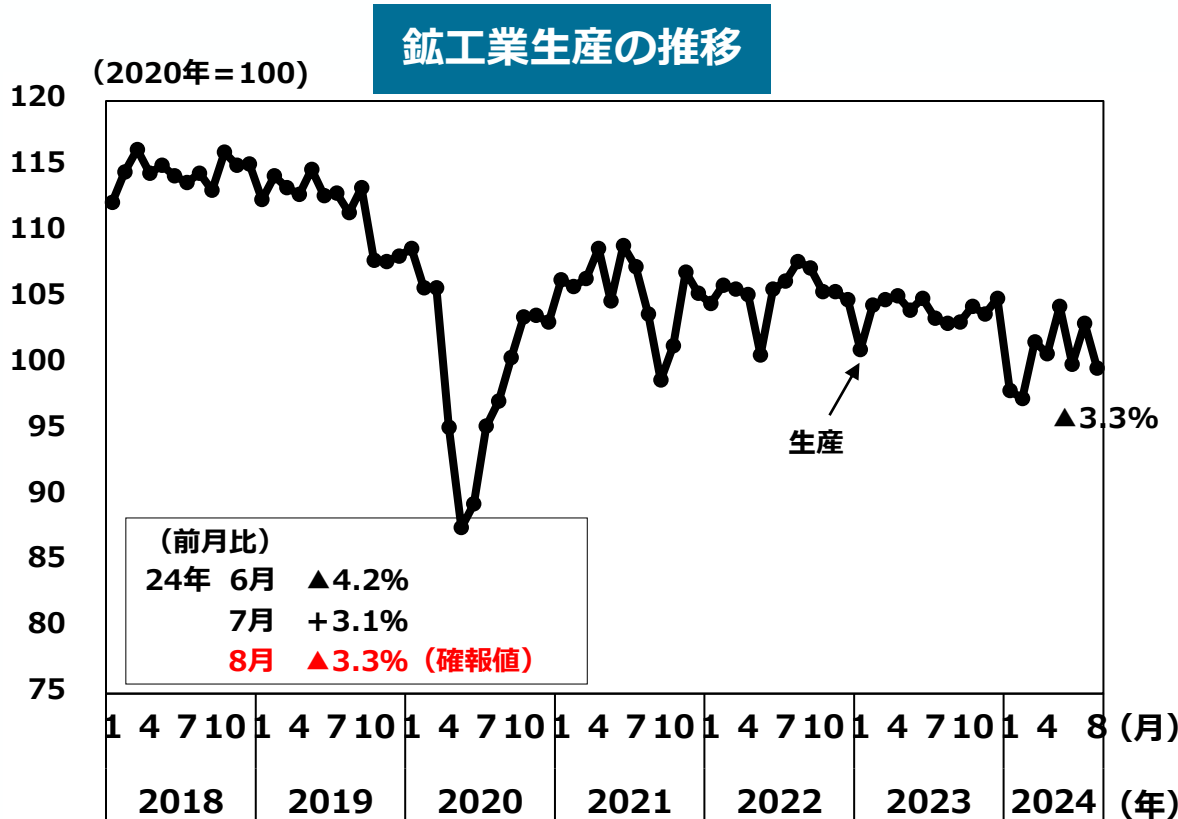
GDPの推移（年率換算）



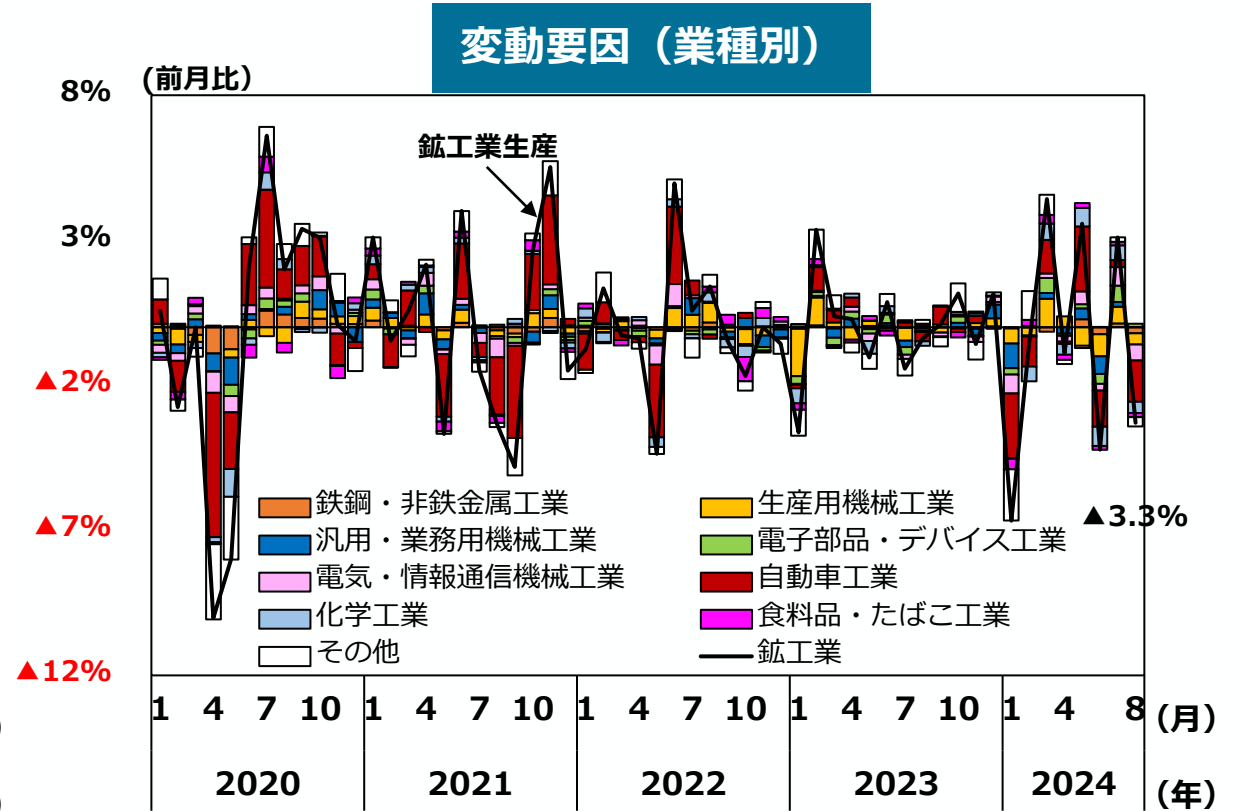
（資料）内閣府「国民経済計算」2024年9月9日公表（2次速報値）

生産

- 24年8月は、前月比▲3.3%と2ヶ月ぶりの低下。自動車工業は台風影響で低下。生産用機械工業は一進一退で推移。電子部品・デバイス工業は、半導体メモリの好調により上昇傾向。
- 24年8月の生産の基調判断は「生産は一進一退」。(据え置き)



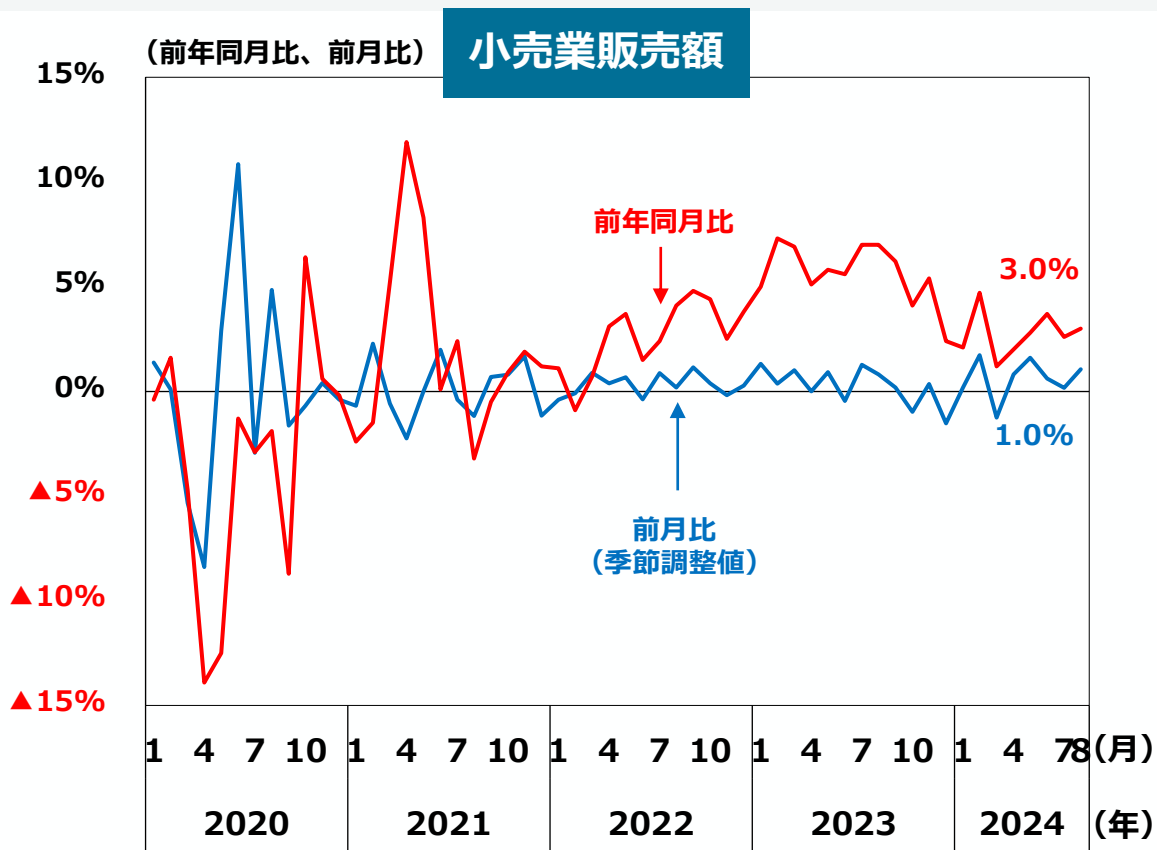
(注) 季節調整値
 (資料) 経済産業省「鉦工業指数」 2024年10月15日公表 (確報値)



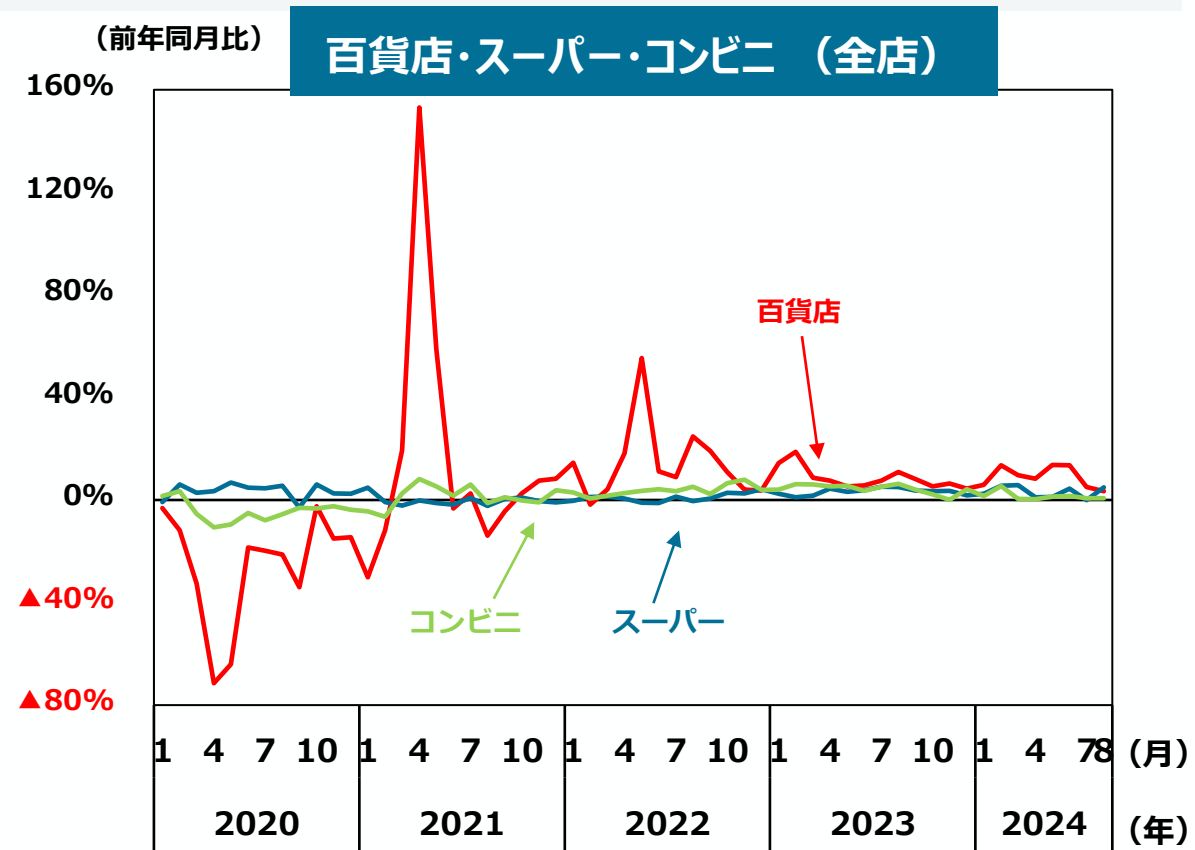
(注) 季節調整値
 (資料) 経済産業省「鉦工業指数」 2024年10月15日公表 (確報値)

消費①

- 24年8月の小売業販売額は、13.8兆円。前年同月比は+3.0%で30か月連続の増加となり、前月比は+1.0%で5か月連続の増加となった。
- 主要な業態では、販売額（前年同月比）で百貨店、スーパー、コンビニとも増加となった。



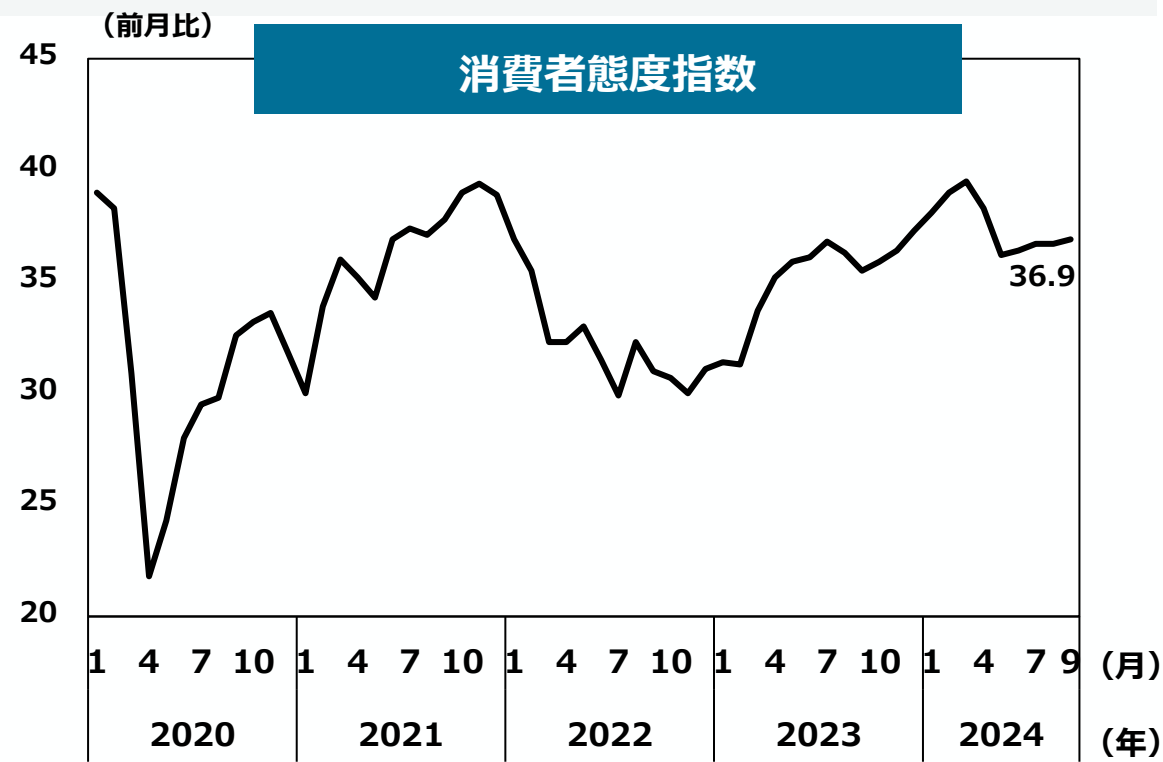
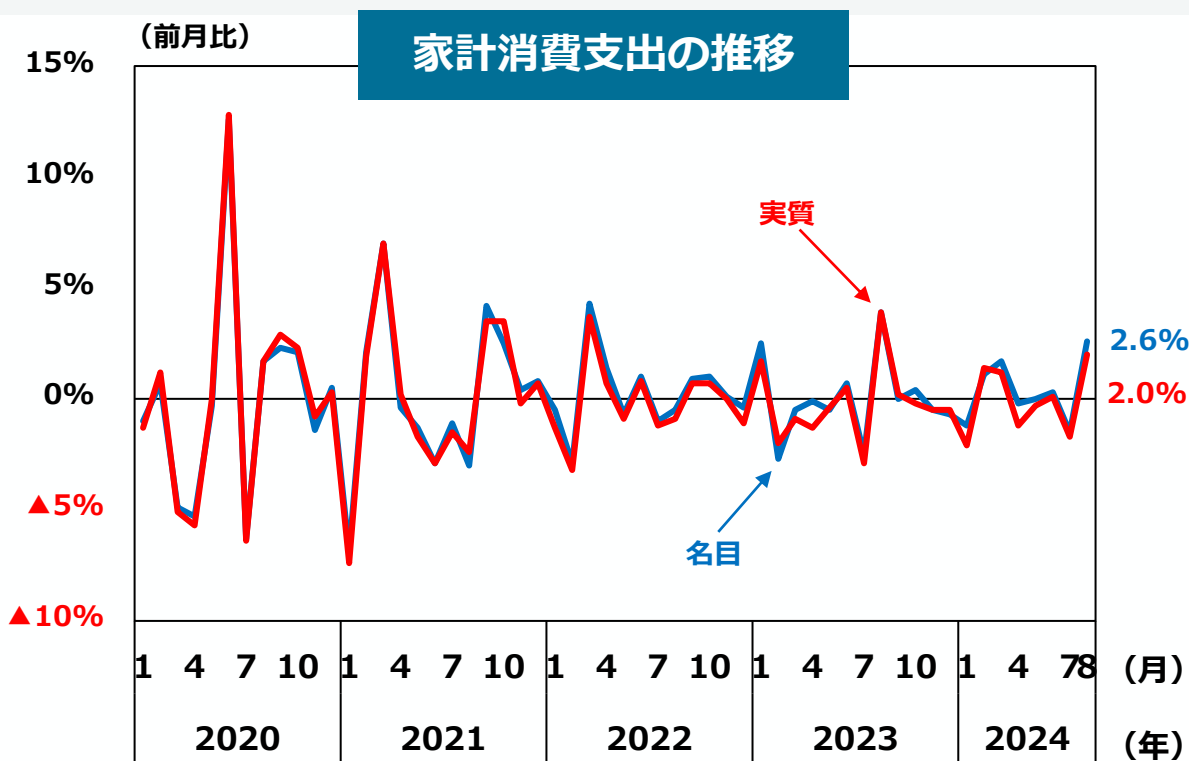
(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年10月15日公表 (確報値)



(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年10月15日公表 (確報値)

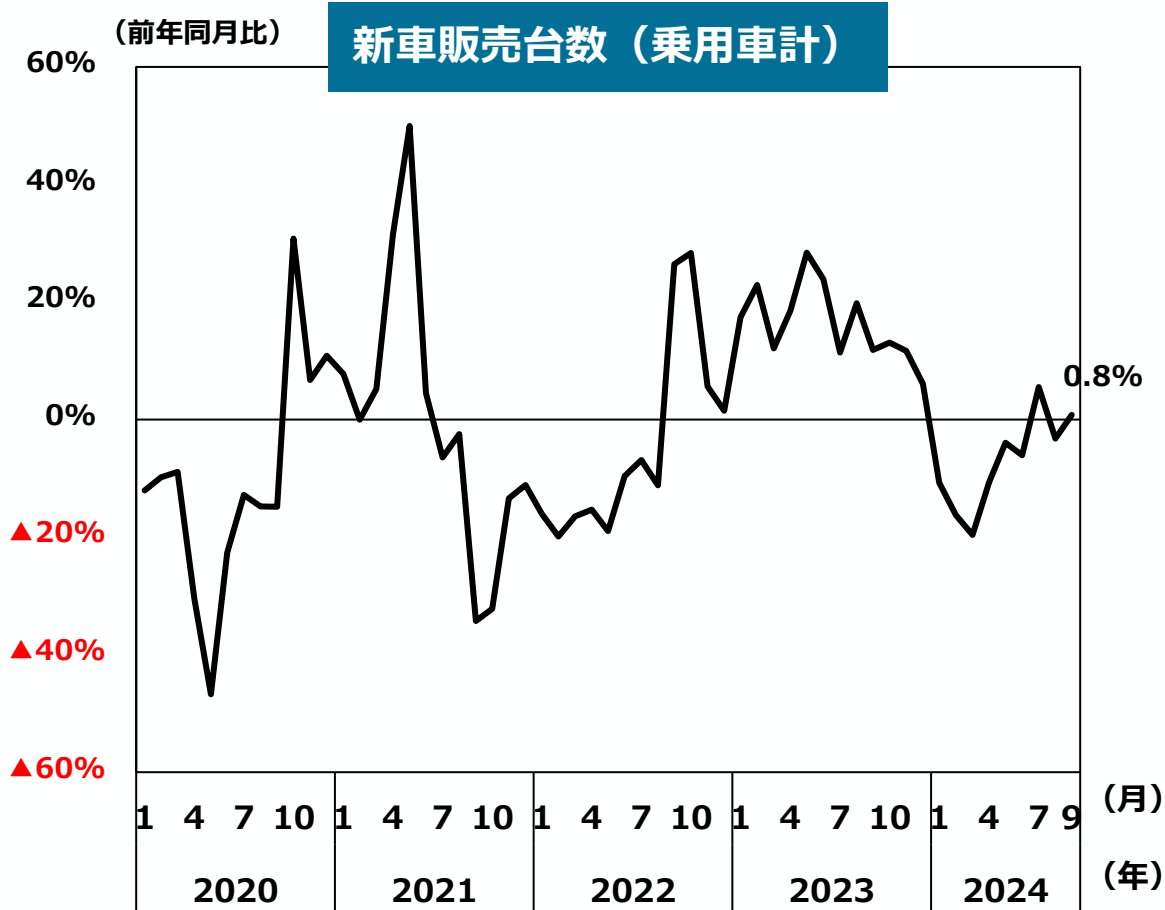
消費②

- 24年8月の実質家計消費支出は前月比+2.0%と、2か月ぶりのプラスに転じた（前年同月比は▲1.9%と2か月ぶりのマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比+2.6%（前年同月比は+1.5%）。
- 消費者マインドは、一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。

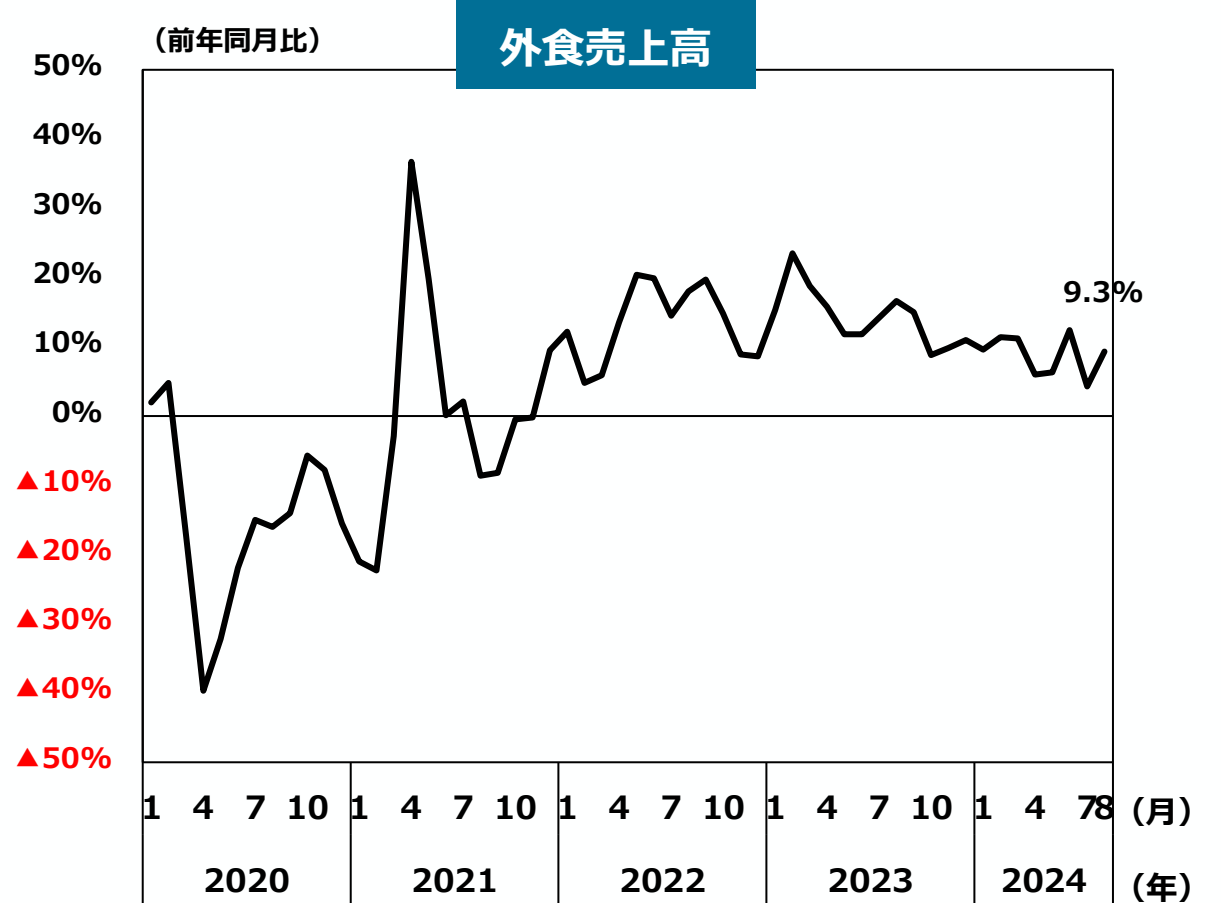


消費③

- 24年9月の新車販売台数は36.6万台。前年同月比+0.8%と、2か月ぶりのプラスに転じた。
- 24年8月の外食売上高は前年同月比+9.3%のプラス。



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2024年10月1日公表
 全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2024年10月1日公表



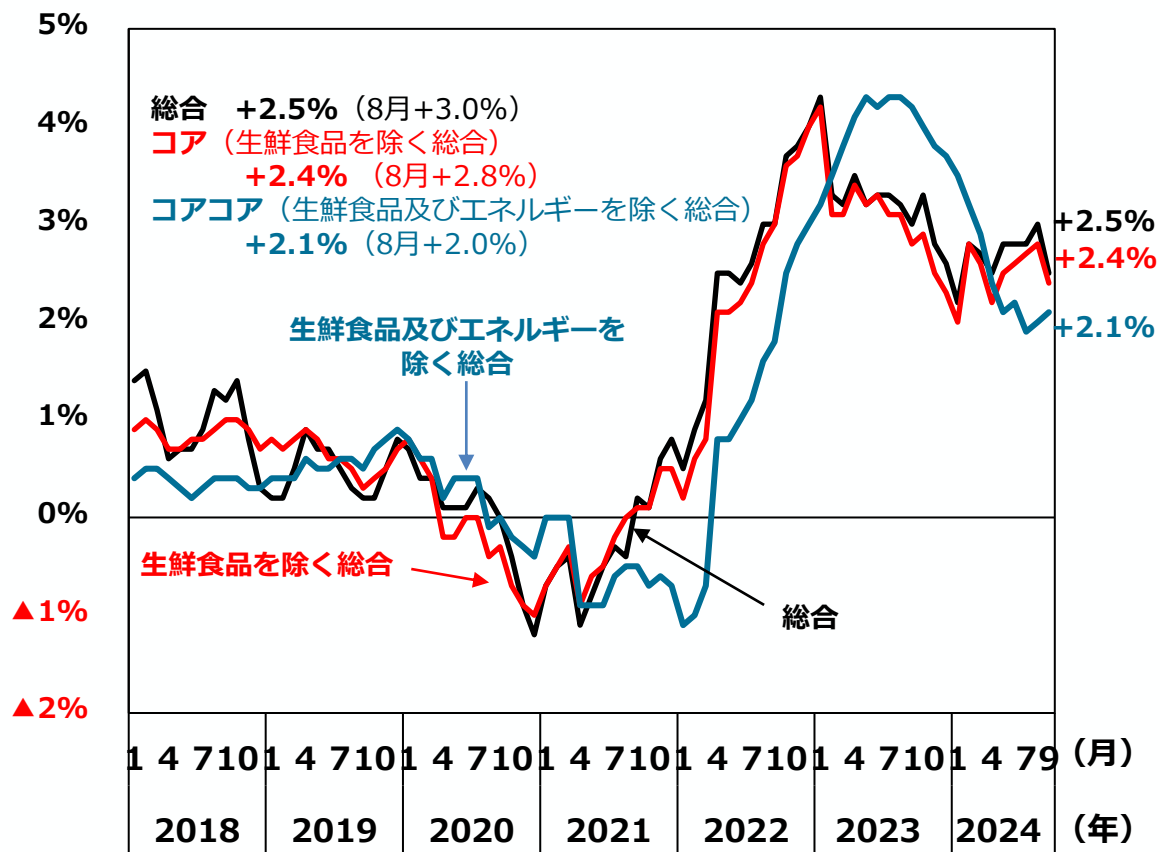
(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2024年9月25日公表

物価①

- 24年9月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.5%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+2.4%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+2.1%となった。

(前年同月比)

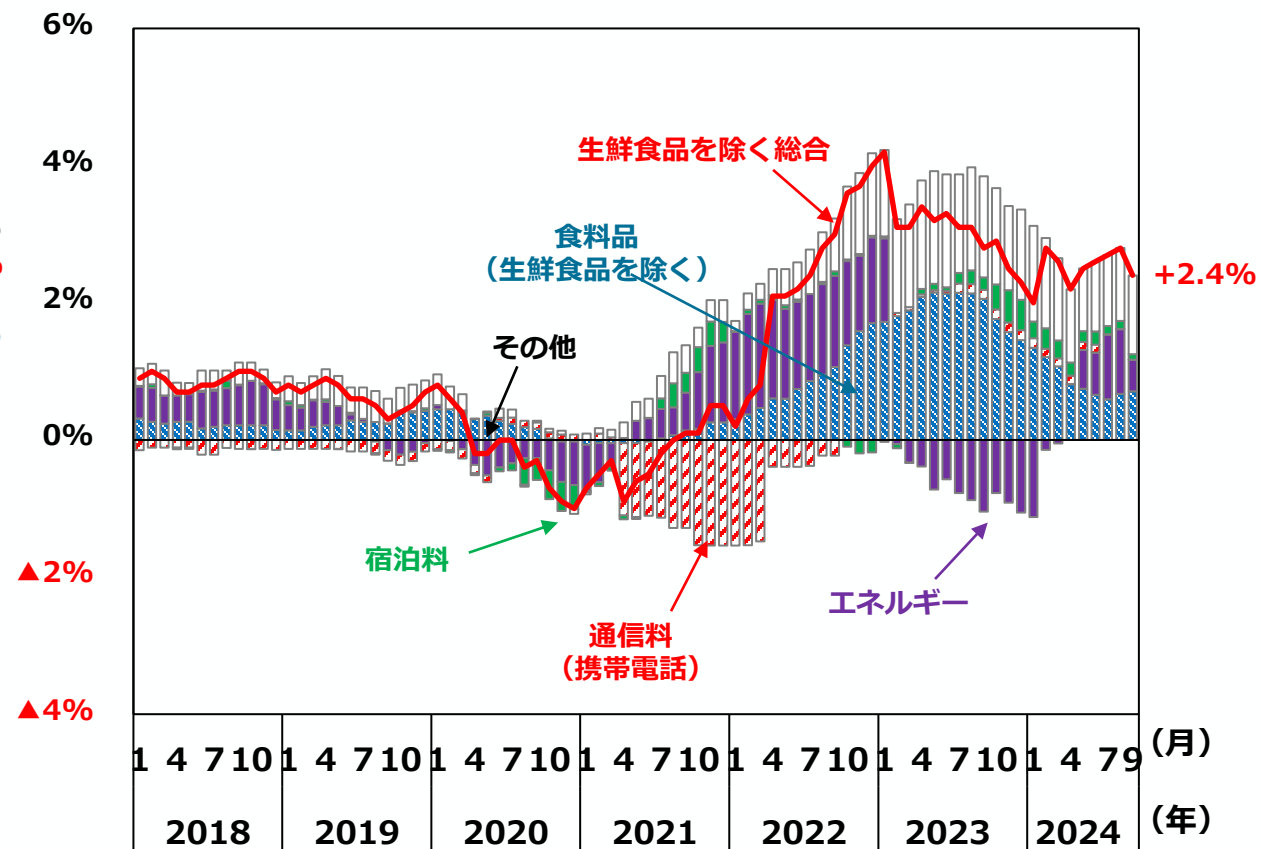
消費者物価指数の推移



(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年10月18日公表

(前年同月比)

生鮮食品を除く総合の寄与度分解

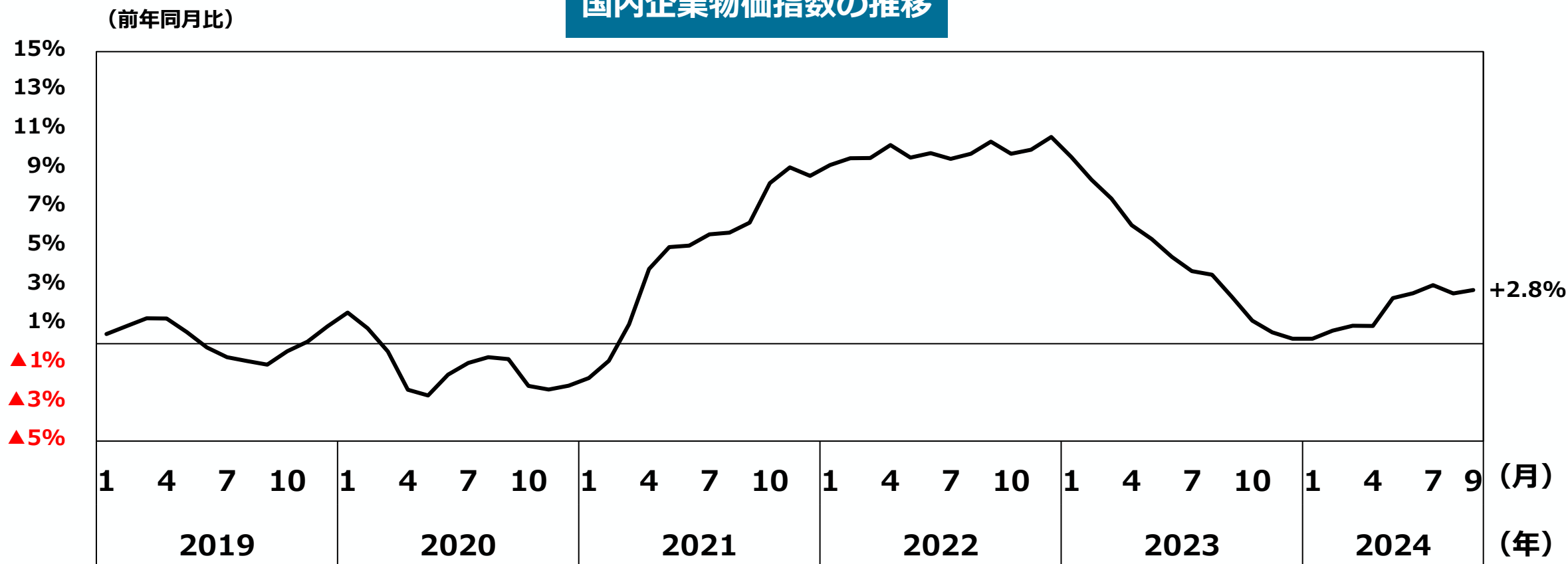


(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年10月18日公表

物価②

- 24年9月の国内企業物価指数は前年同月比+2.8%（24年8月：同+2.6%）と、上昇率が拡大。電気・ガス代の支援策を受けて、電力・都市ガス・水道の上昇幅が縮小した一方、農林水産物の上昇幅が拡大。

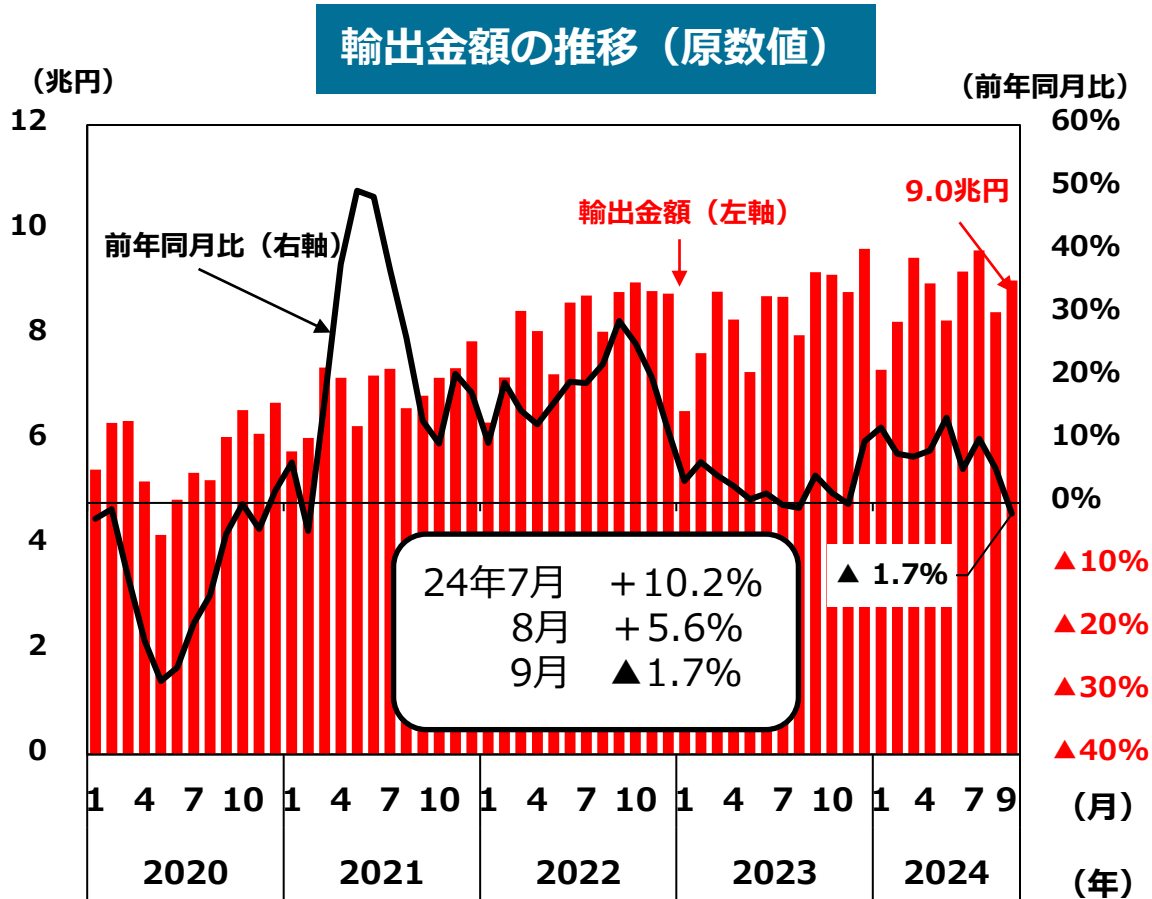
国内企業物価指数の推移



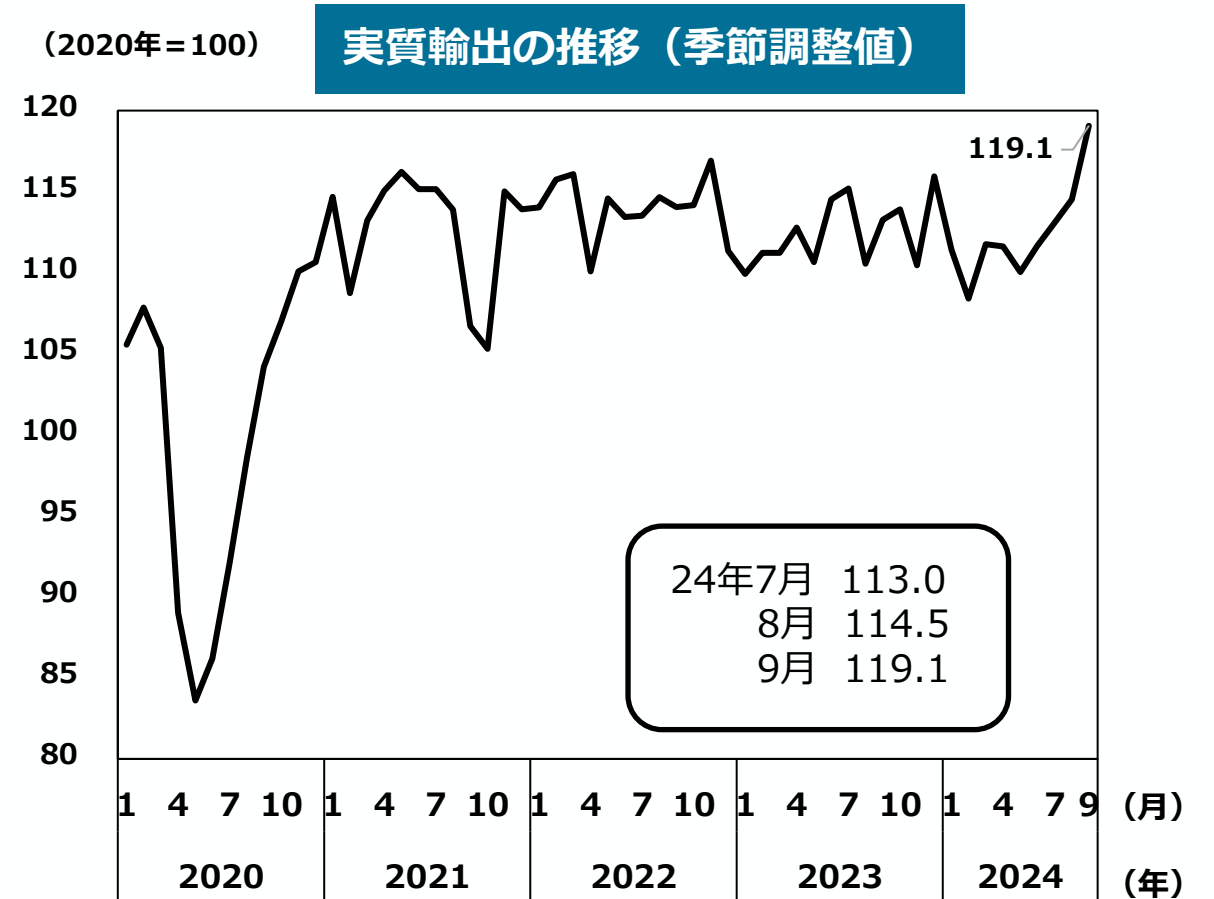
(資料) 日本銀行「企業物価指数」2024年10月10日公表

輸出

- 24年9月の輸出金額（9.0兆円）は前年同月比▲1.7%と2ヶ月ぶりの減少。
- 実質輸出は前月比+4.6%と4ヶ月連続の増加。



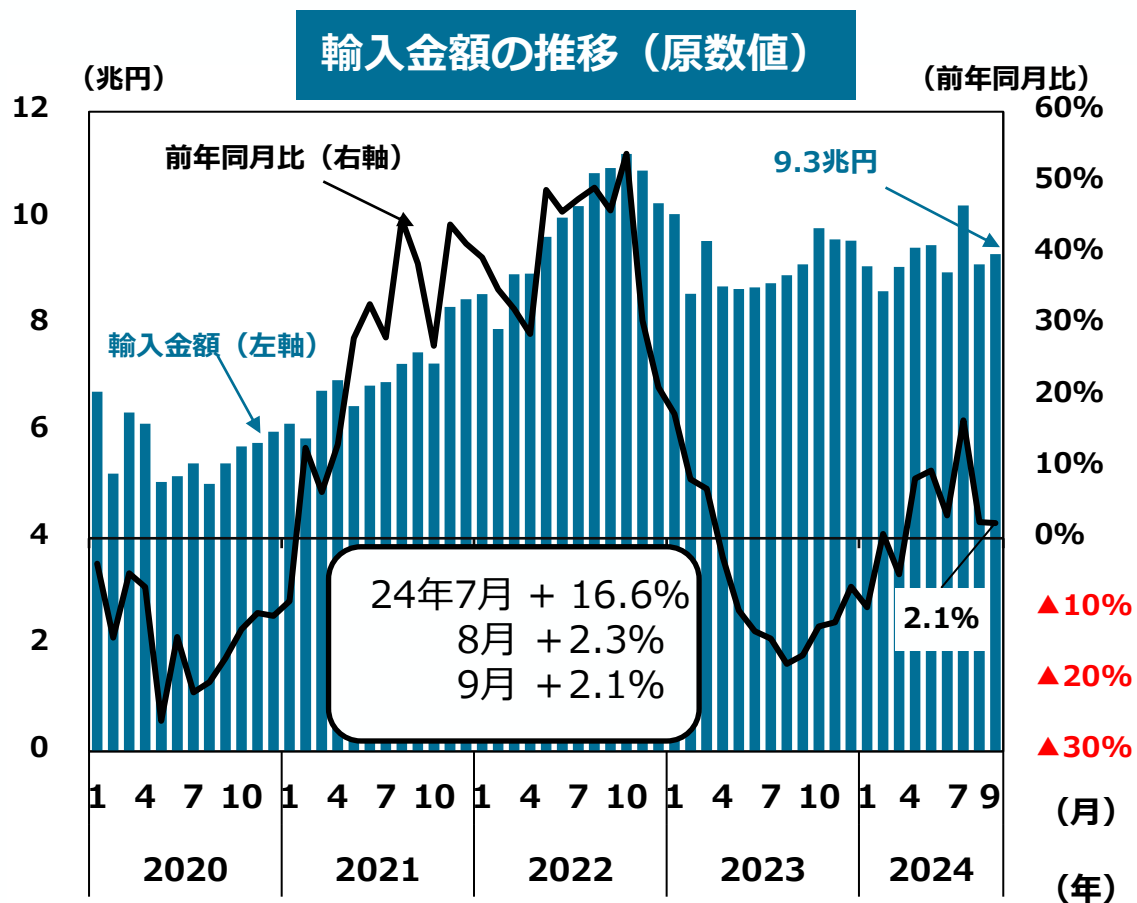
(資料) 財務省「貿易統計」2024年10月17日公表 (速報値)



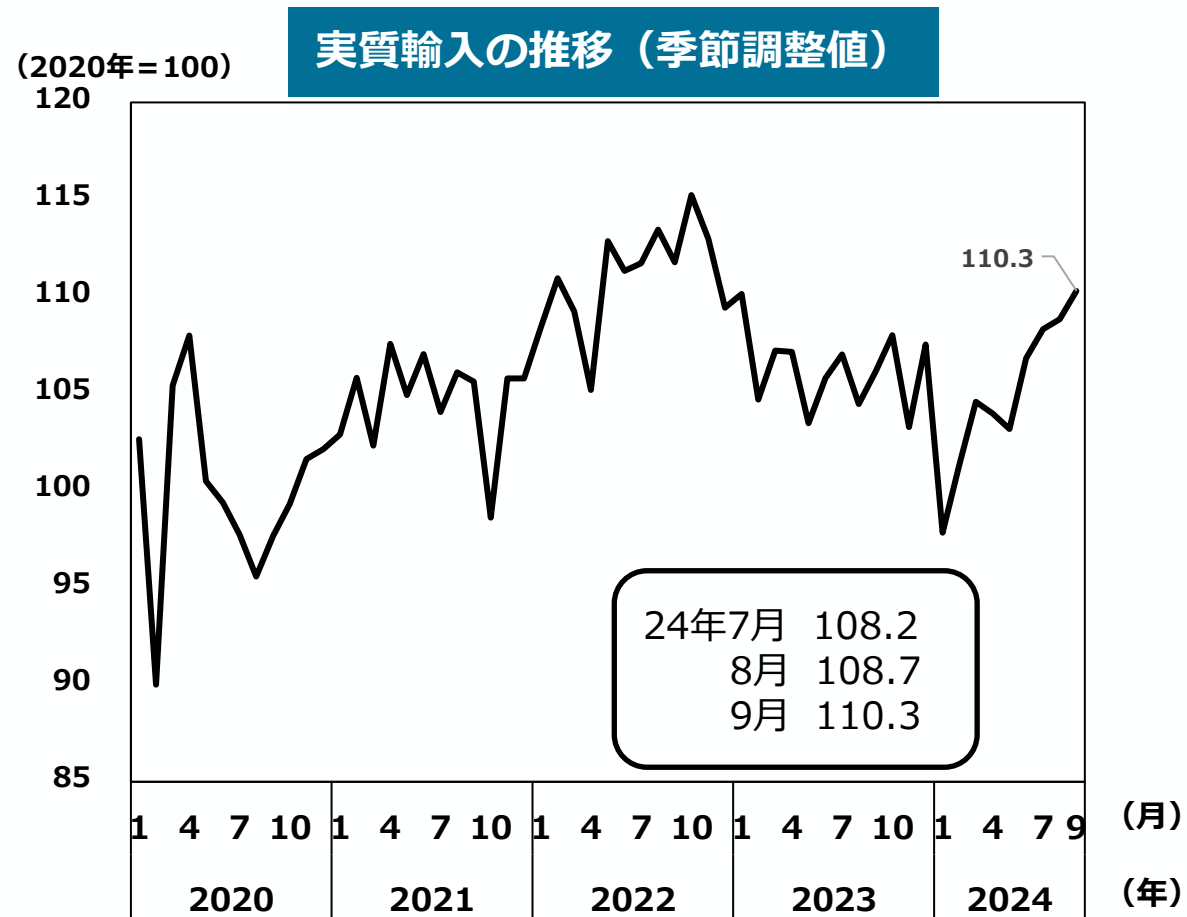
(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2024年10月17日公表

輸入

- 24年9月の輸入金額（9.3兆円）は前年同月比+2.1%と6ヶ月連続の増加。
- 実質輸入は前月比+1.6%と4ヶ月連続の増加。



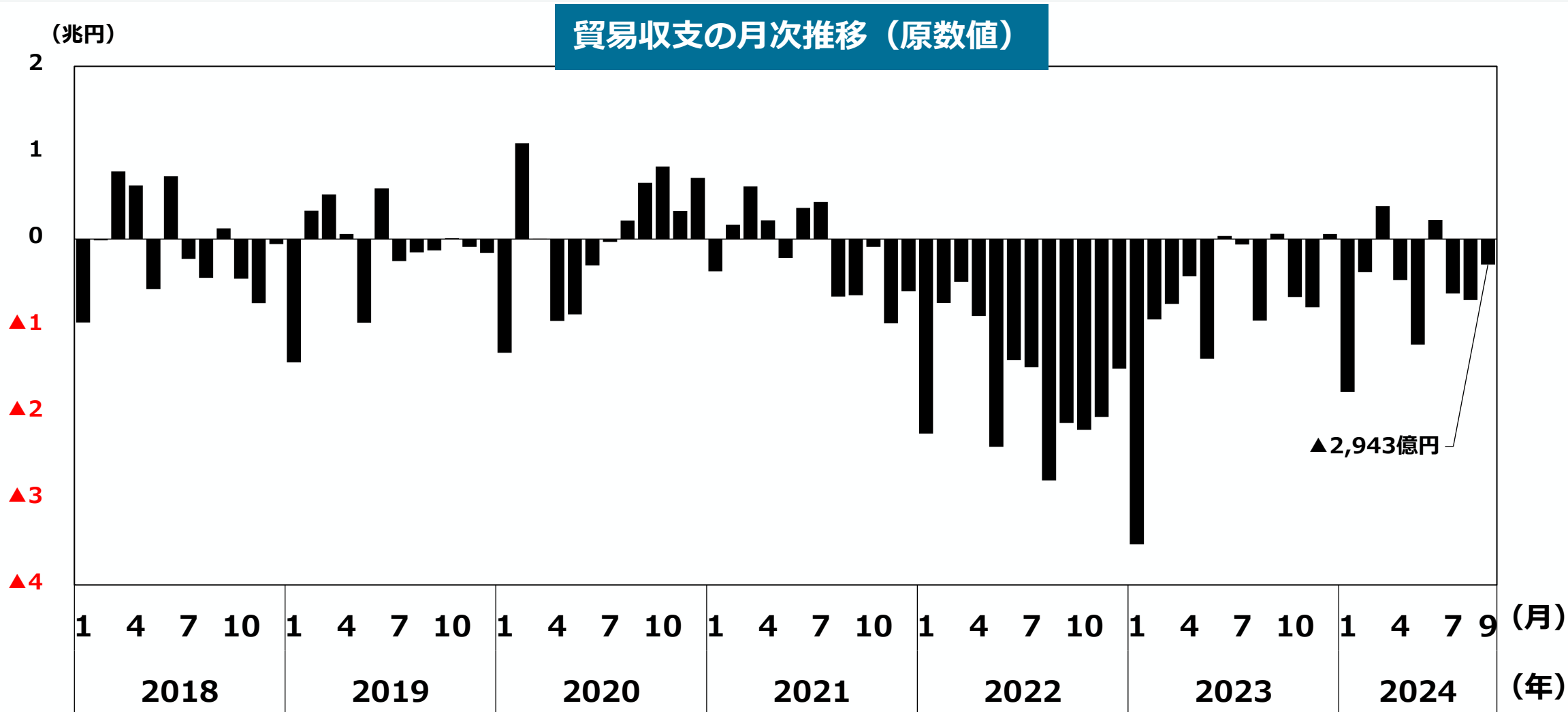
(資料) 財務省「貿易統計」2024年10月17日公表（速報値）



(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2024年10月17日公表

貿易収支

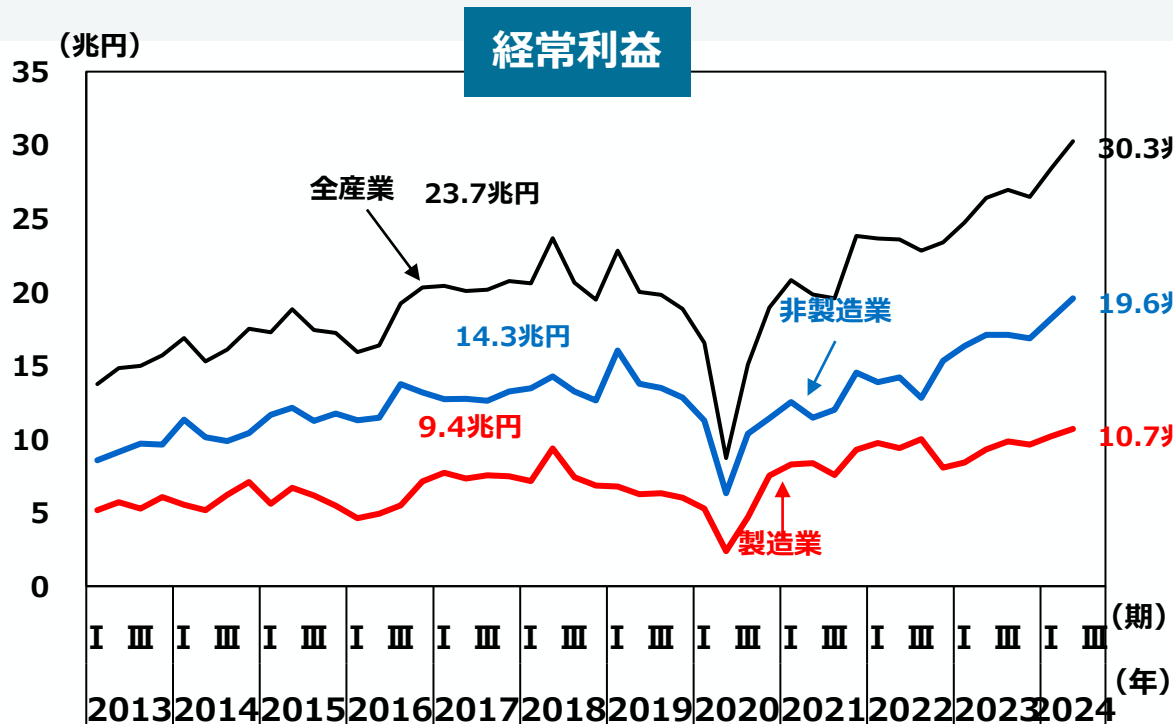
- 24年9月の貿易収支は、▲2,943億円と3ヶ月連続の赤字。



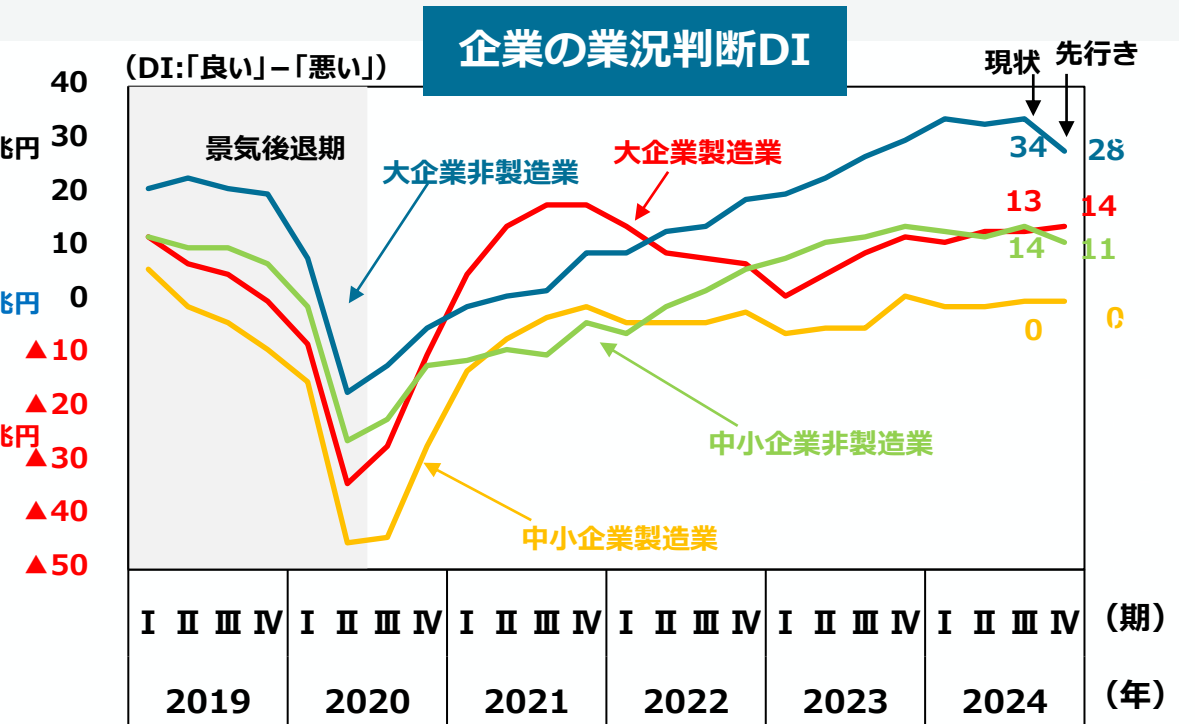
(資料) 財務省「貿易統計」2024年10月17日公表 (速報値)

企業収益 業況判断

- 24年4-6月期の経常利益は、全規模全産業で30.3兆円(前期比+6.6%)と過去最高額。製造業は同+4.8%と2四半期連続の増益、非製造業は同+7.5%と2四半期連続の増益。
- 24年9月調査時点の業況は、大企業非製造業、中小企業非製造業、中小企業製造業は改善、大企業製造業は横ばい。先行きは、大企業非製造業、中小企業非製造業は悪化、中小企業製造業は横ばい、大企業製造業は改善が見込まれる。



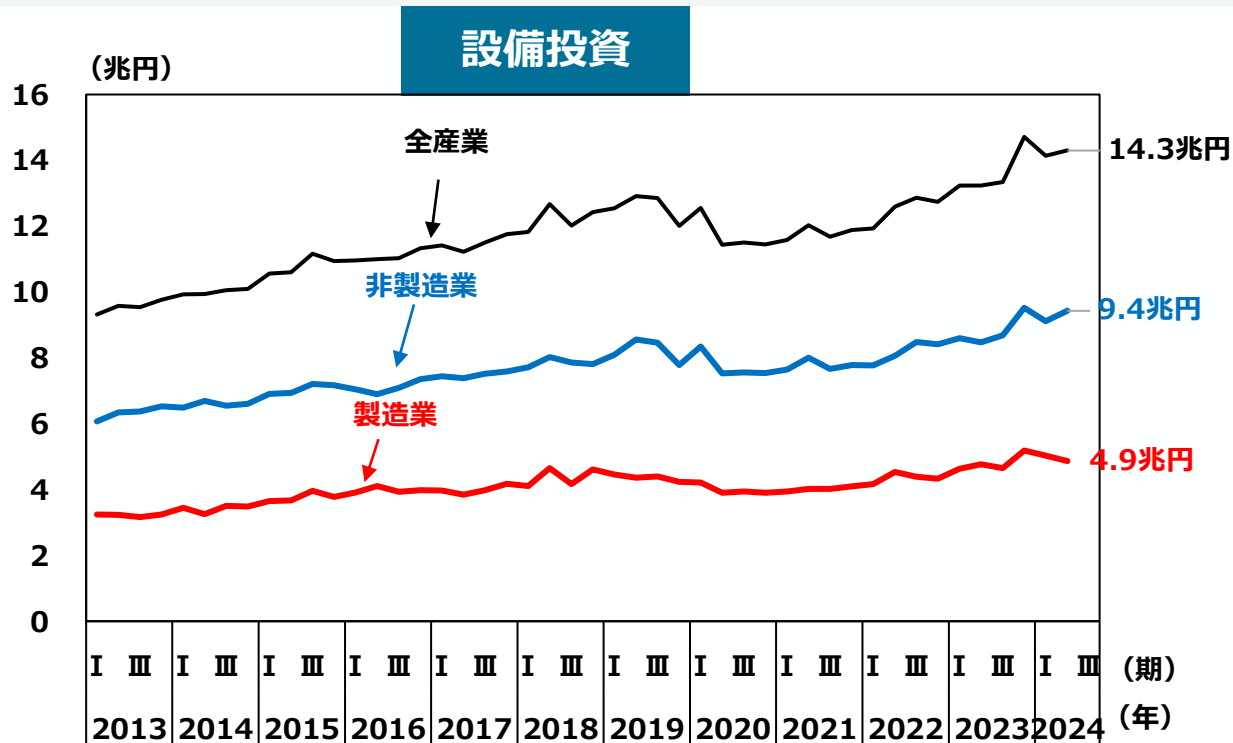
(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年9月2日公表



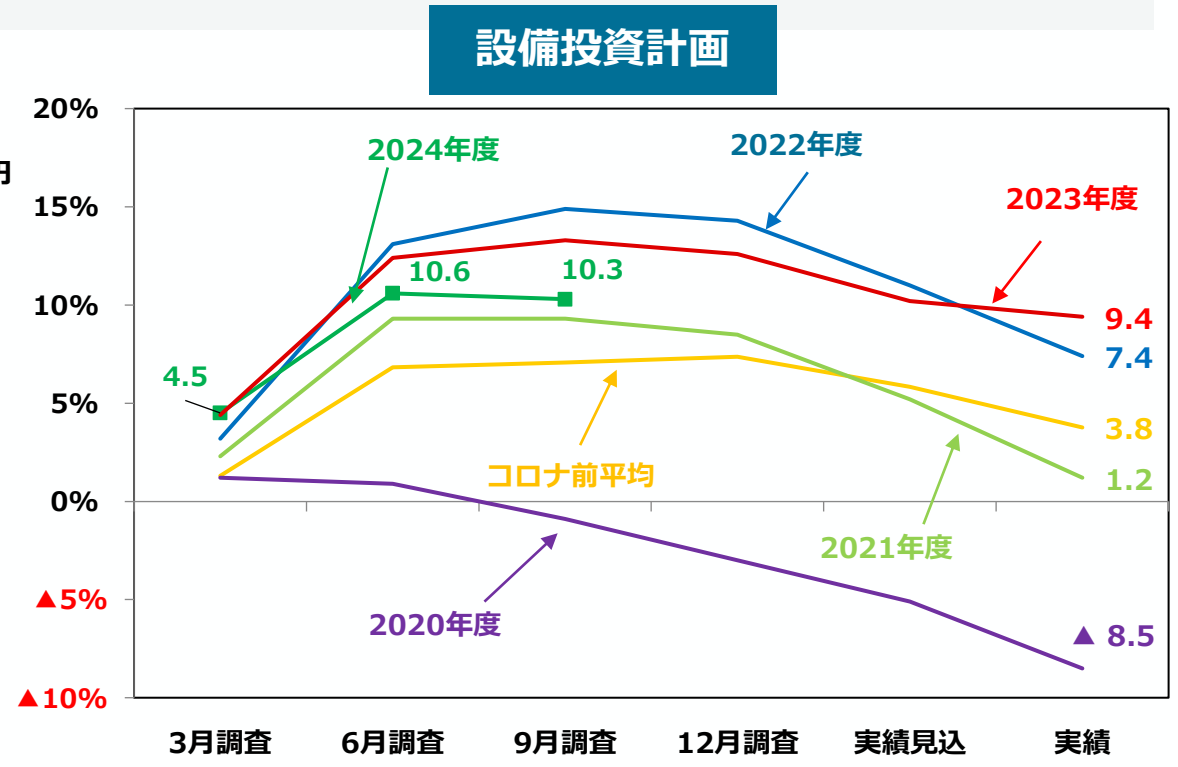
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年10月1日公表

設備投資

- 24年4-6月期の設備投資は全規模全産業で14.3兆円（前期比+1.2%）と、過去4位の額。製造業は同▲3.2%と2四半期連続の減少、非製造業は同+3.5%と2四半期ぶりの増加。
- 24年月調査時点の23年度設備投資実績は全規模全産業で前年度比+9.4%、24年度設備投資計画は全規模全産業で同+10.3%。



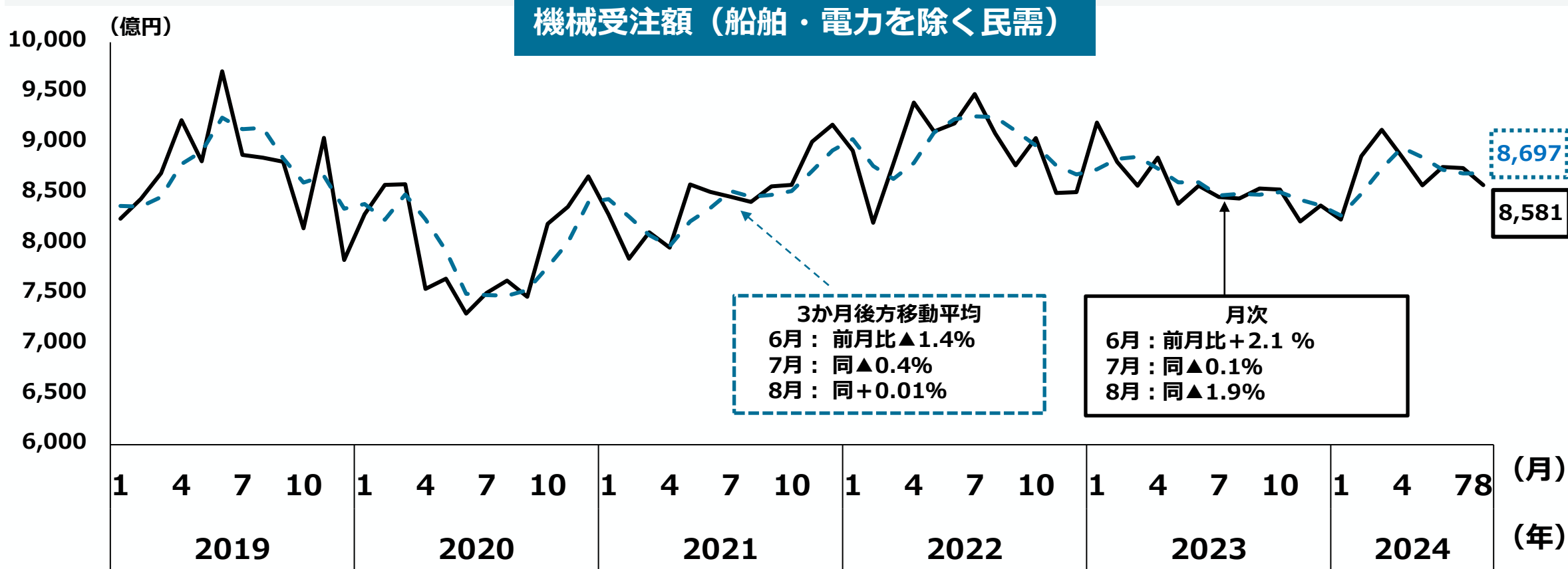
(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。
(資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年9月2日公表



(注) 「コロナ前平均」は、2017年度～2019年度の平均値。
ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含み、土地投資額を含まない。
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年10月1日公表

機械受注

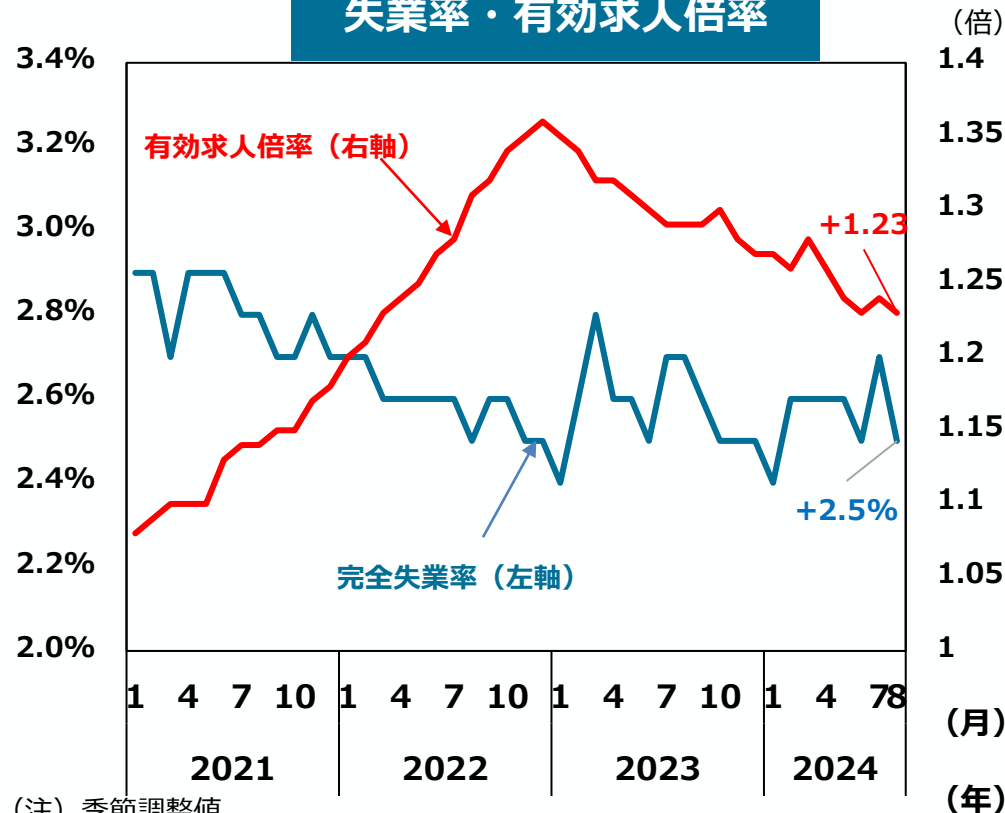
- 8月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,581億円（前月比▲1.9%）と、2カ月連続の下落。
- 基調判断は、足元は持ち直しの動きに足踏みがみられる。



雇用

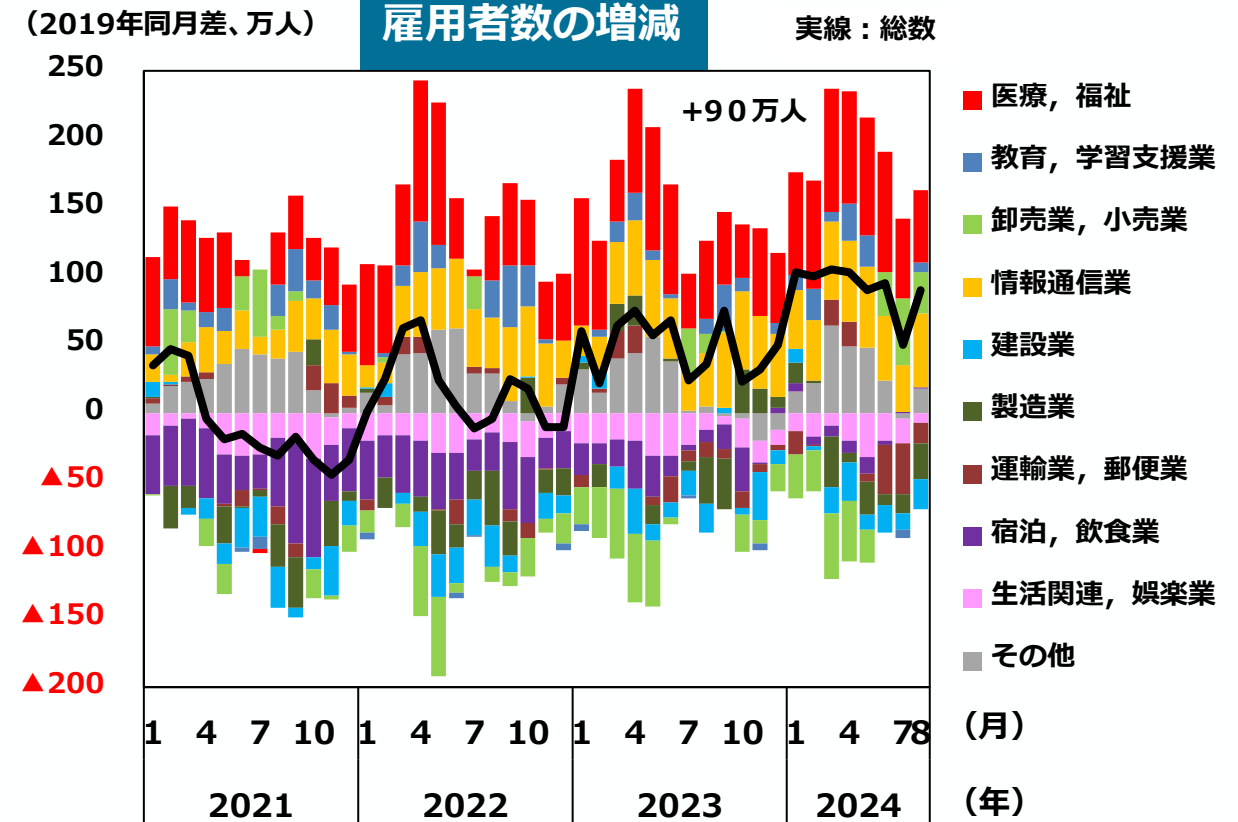
- 24年8月の完全失業率は+2.5%と前月から減少、有効求人倍率は+1.23倍と前月から減少。
- 24年8月の雇用者数は、19年同月差で+90万人。産業別では、情報通信業、卸売業、小売業、医療、福祉等がコロナ前との比較で増加。

失業率・有効求人倍率



(注) 季節調整値
 (資料) 総務省「労働力調査」2024年10月1日公表
 厚生労働省「一般職業紹介状況」2024年10月1日公表

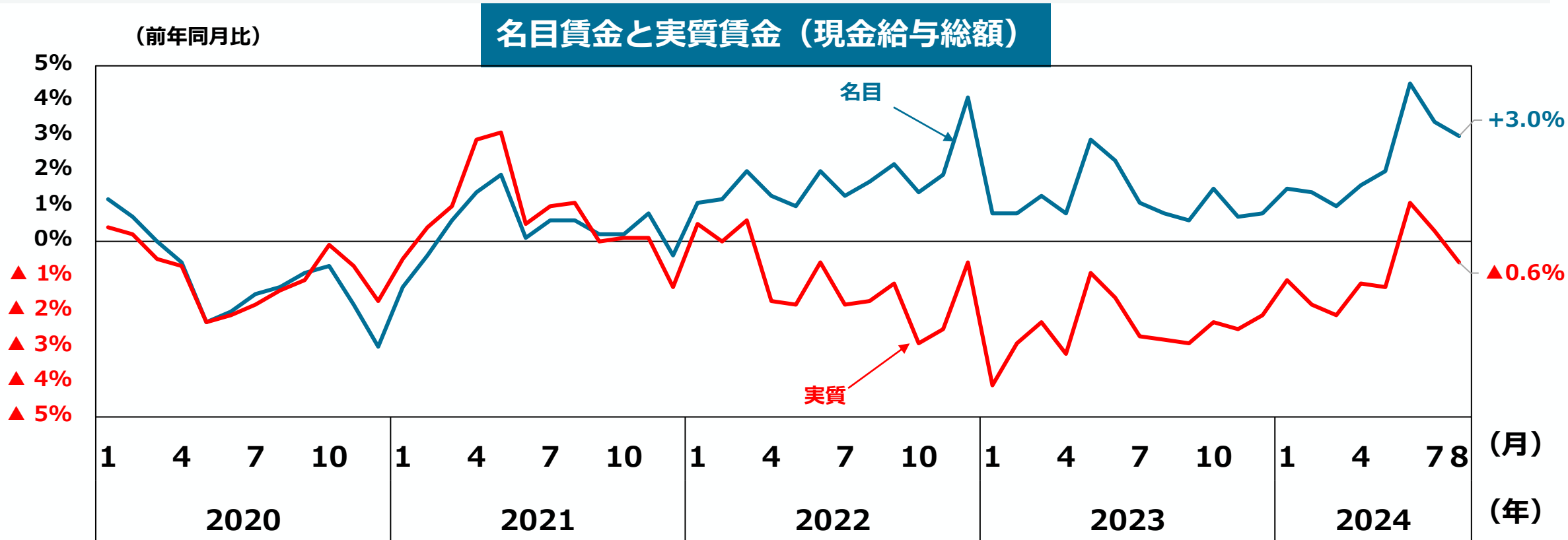
雇用者数の増減



(資料) 総務省「労働力調査」2024年10月1日公表

賃金

- 24年8月の名目賃金は前年同月比+3.0%、実質賃金は同▲0.6%。
- 「名目賃金」は32ヶ月連続プラス。所定内給与、所定外給与、賞与のいずれもプラス。
- 「実質賃金」は8月は▲0.6%（7月:+0.3%）と3ヶ月ぶりのマイナス。

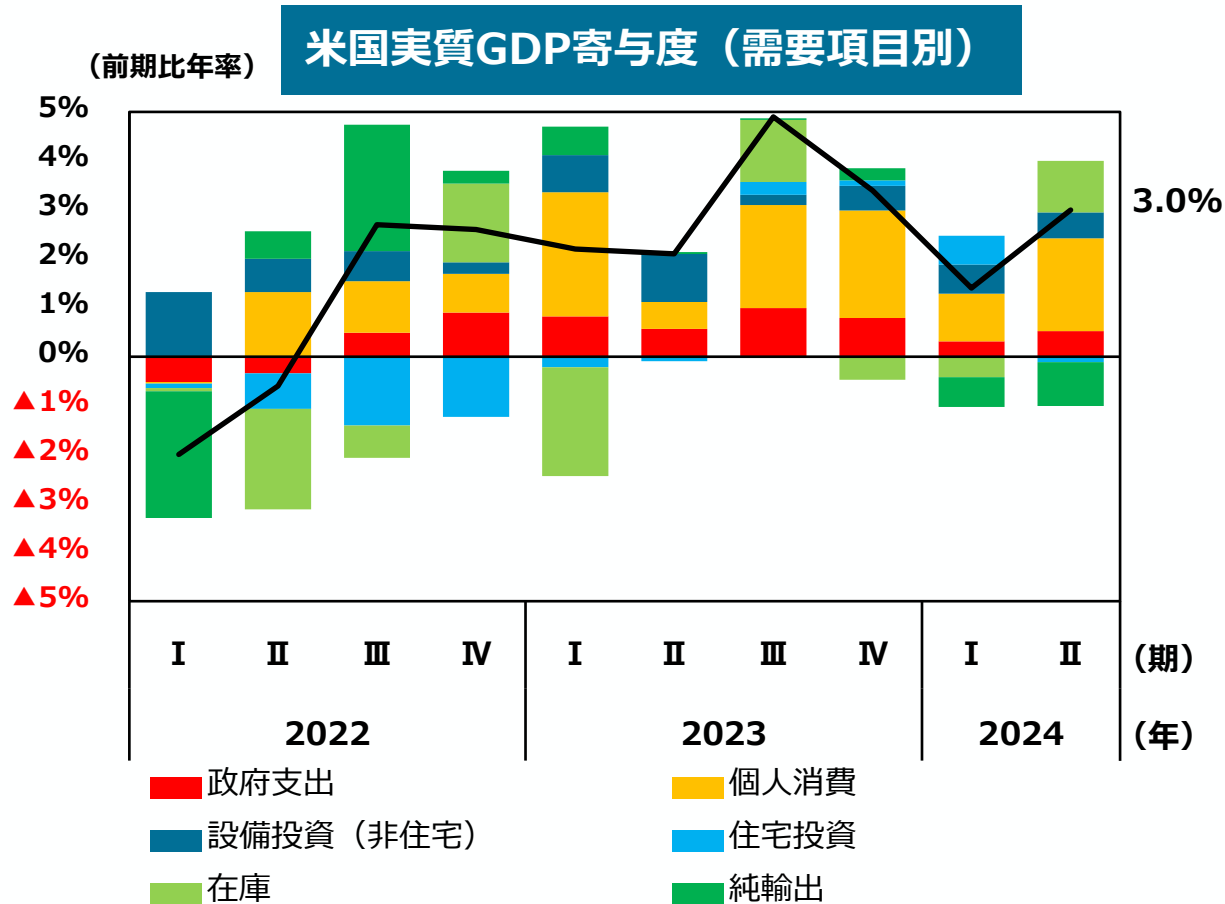


（資料）厚生労働省「毎月勤労統計」2024年10月8日公表（速報値）

- 日本經濟
- 美国經濟
- 中国經濟
- 欧州經濟

米国GDP

- 24年4-6月期実質GDP成長率（確報）は、前期比+3.0%と、8四半期連続のプラス成長。個人消費や設備投資の堅調さがみられた一方、住宅投資の減速が下押し要因となった。



（注）季節調整値
（資料）米商務省「GDP統計」2024年9月26日公表（確報）

需要項目別・成長率 (前期比年率)

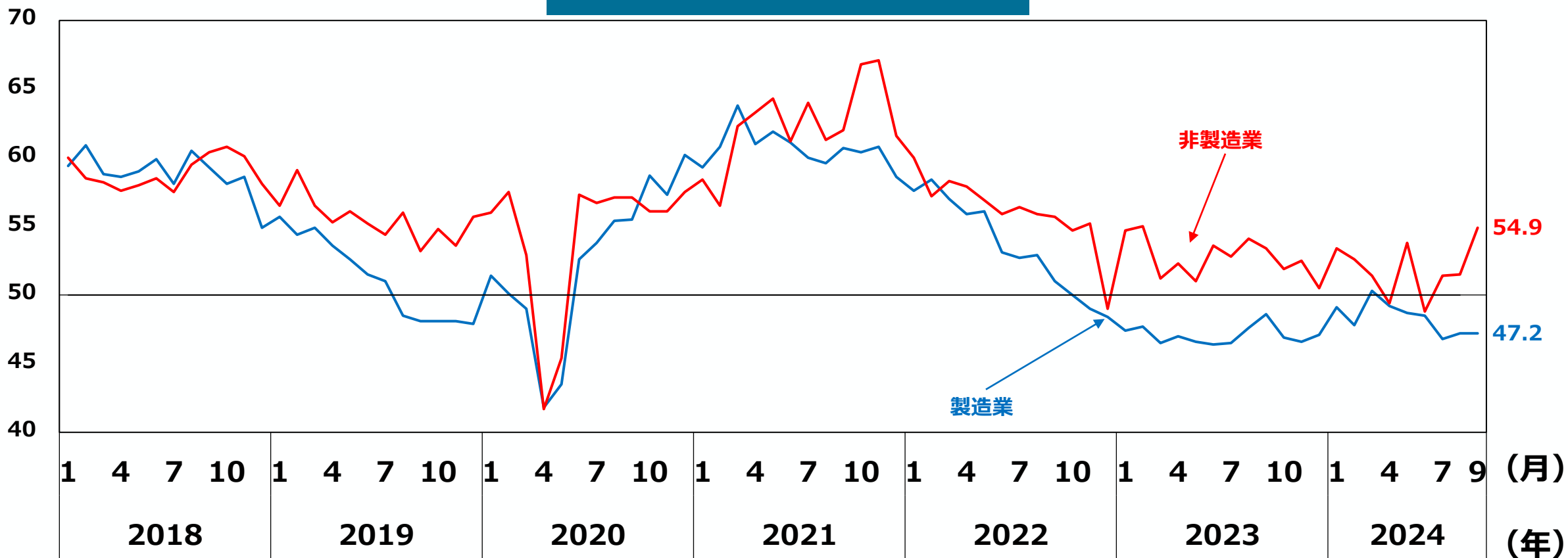
	1-3月期	4-6月期 確報	増減
実質GDP	1.6	3.0	1.4
個人消費	1.9	2.8	0.9
設備投資	4.5	3.9	▲ 0.6
住宅投資	13.7	▲ 2.8	▲ 16.5
輸出	1.9	1.0	▲ 0.9
輸入	6.1	7.6	1.5
政府支出	1.8	3.1	1.3

（資料）米商務省「GDP統計」2024年9月26日公表（確報）

米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 24年9月ISM製造業景気指数（総合）は47.2と、前月から横ばいで推移。
- 24年9月ISM非製造業景気指数（総合）は54.9と、前月（51.5）から上昇した。

ISM製造業・非製造業景気指数

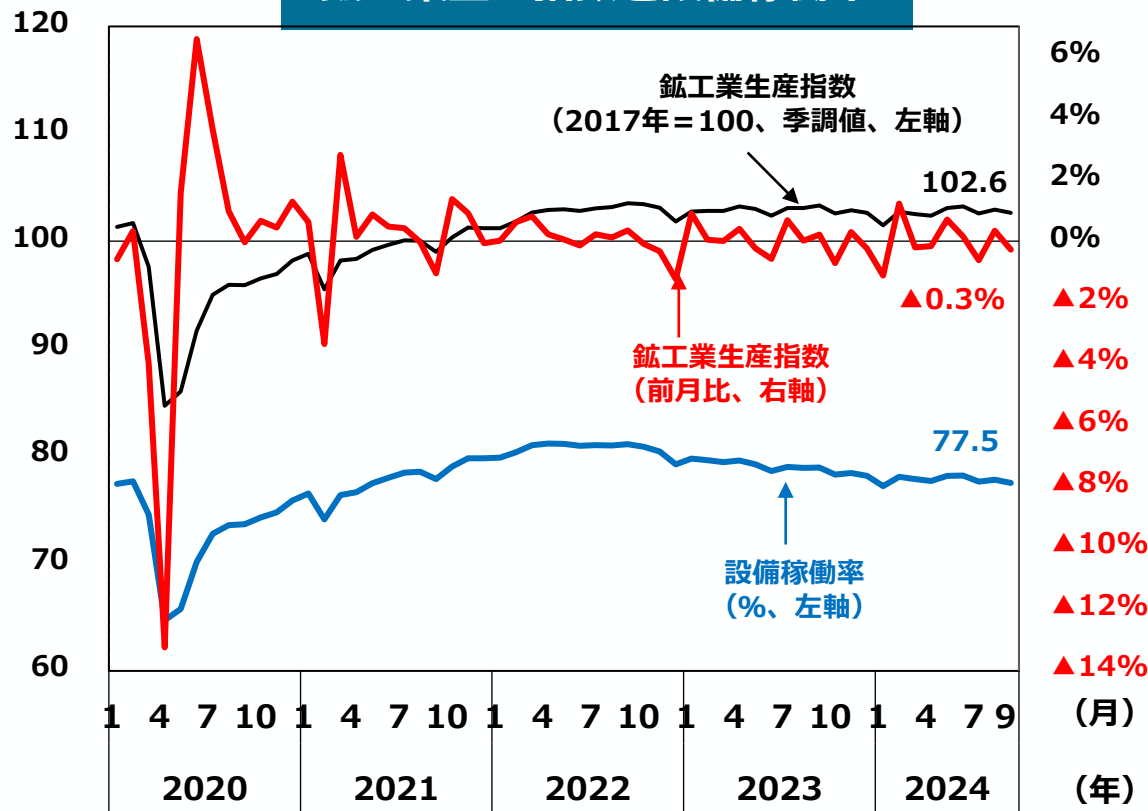


(資料) 米国供給管理協会 (ISM) 製造業：2024年10月1日公表 非製造業：2024年10月3日公表

米国 生産

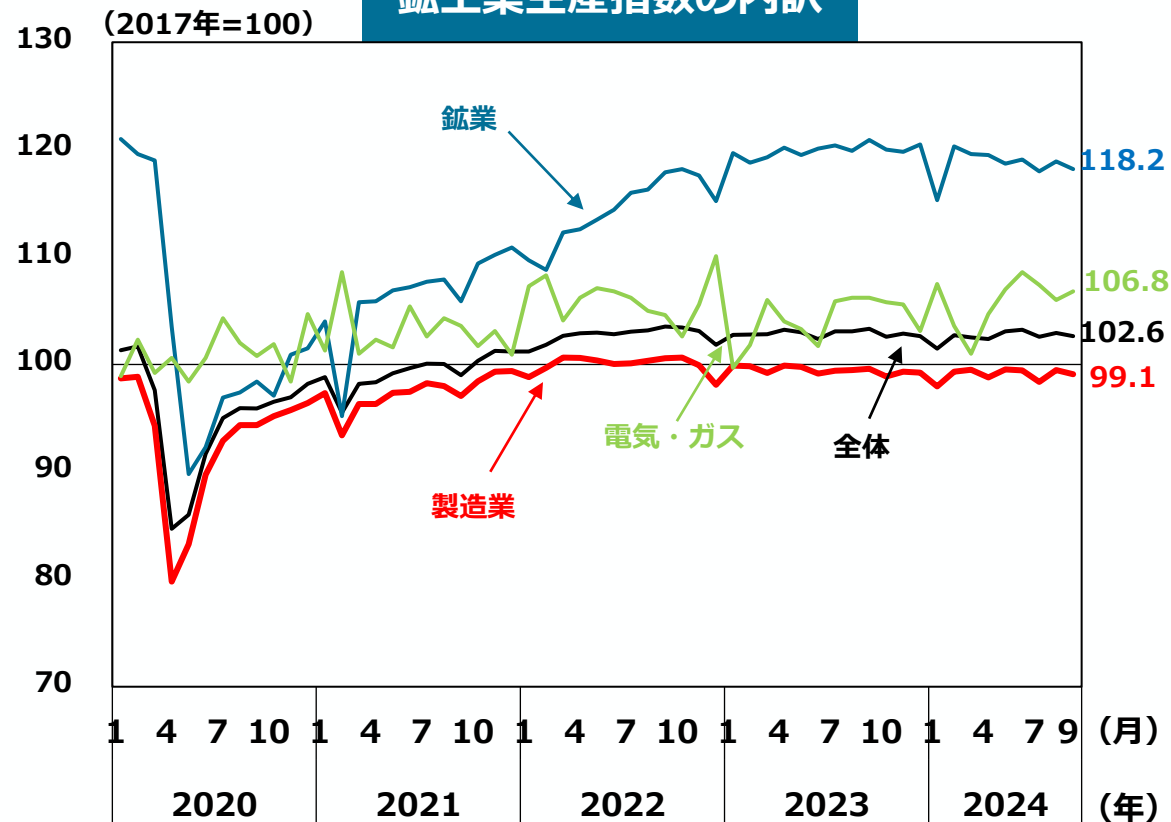
- 9月の鉱工業生産指数は前月比▲0.3%（前月：同+0.8%）。
- 内訳をみると、製造業（前月比▲0.4%）、鉱業（同▲0.6%）、電気・ガス生産（同+0.8%）。

鉱工業生産指数と設備稼働率



(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」 2024年10月17日公表

鉱工業生産指数の内訳

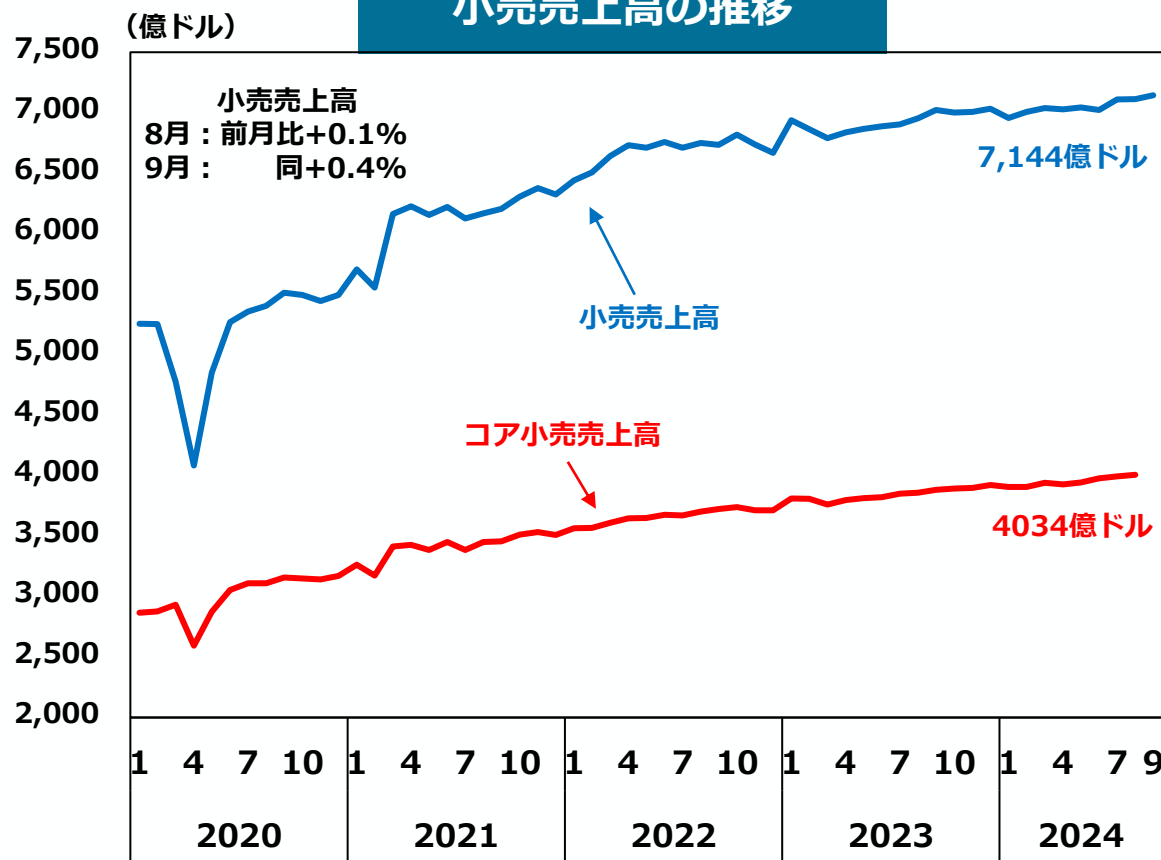


(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」 2024年10月17日公表

米国 消費

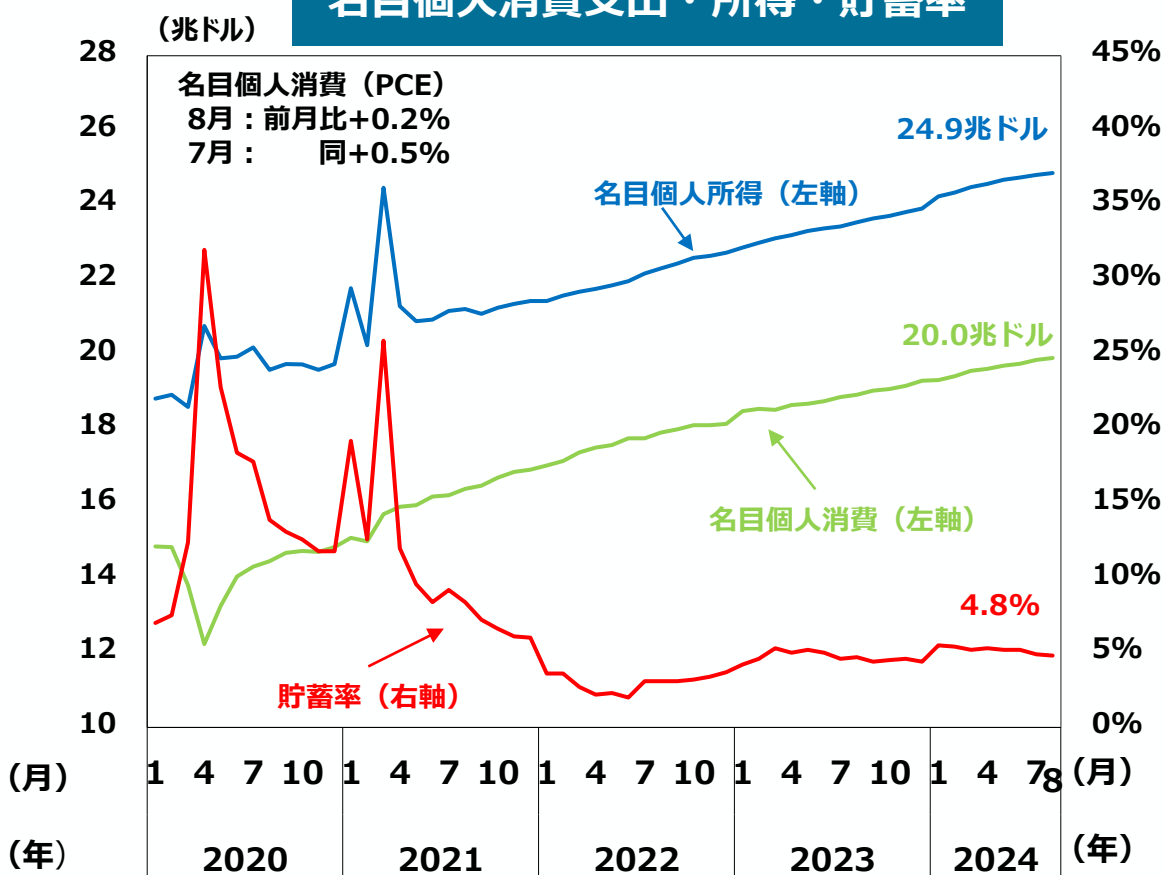
- 24年9月の小売売上高は、前月比+0.4%（前月：同+0.1%）となった。
- 24年8月の名目個人消費（PCE）は、前月比+0.2%（前月：同+0.5%）となった。

小売売上高の推移



(注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。
(資料) 米商務省「小売売上高」2024年10月17日公表

名目個人消費支出・所得・貯蓄率

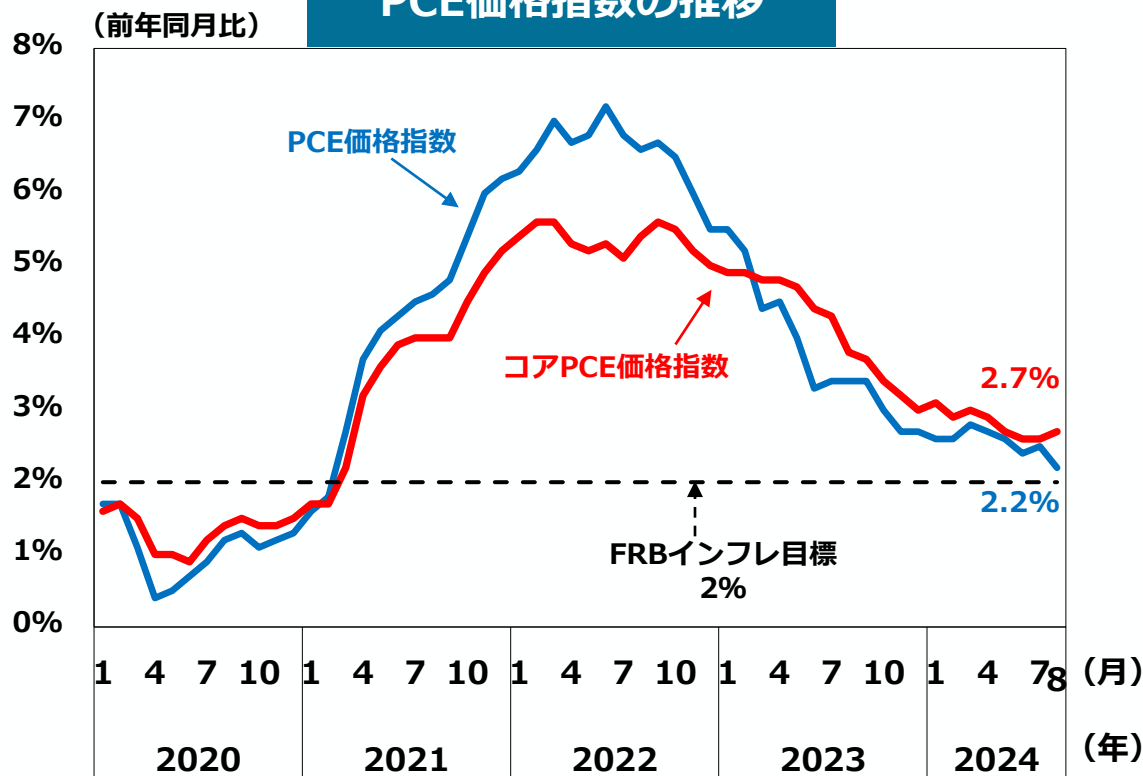


(注) 季節調整値
(資料) 米商務省「個人消費・所得」2024年9月27日公表

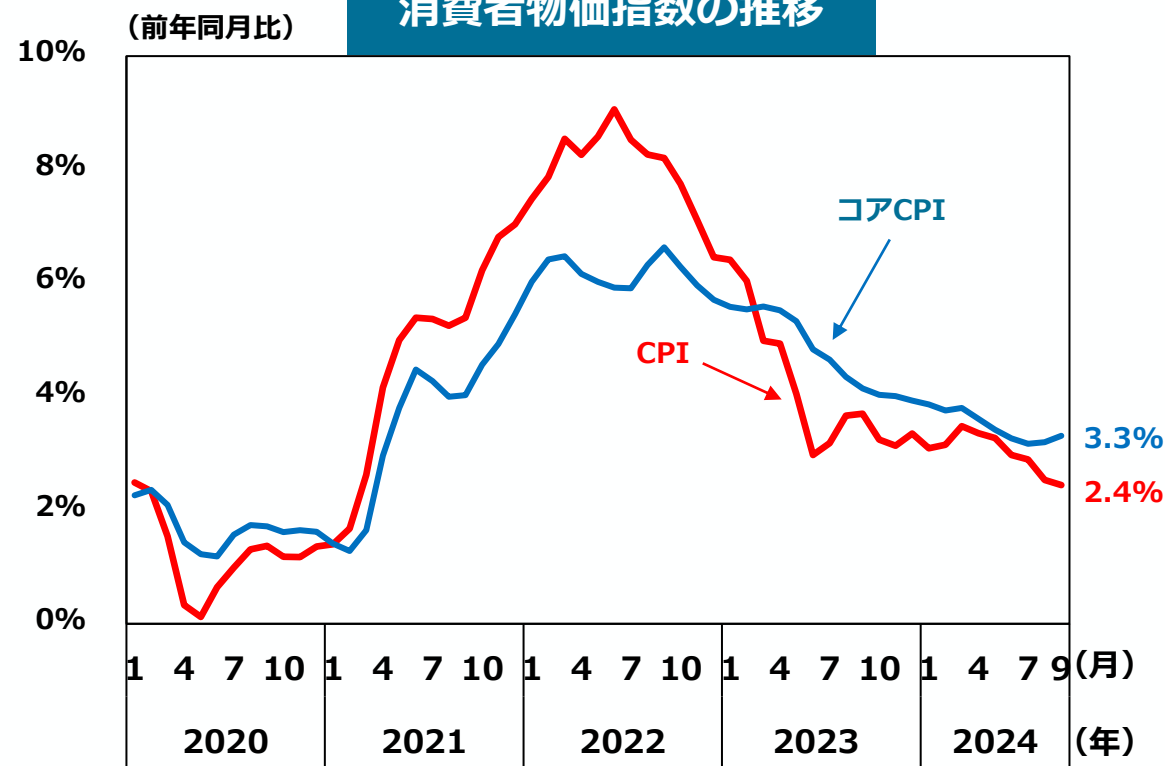
米国 物価①

- 24年8月のPCE価格指数は、前年同月比+2.2%（前月:同+2.5%）。
- 24年9月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+2.4%（前月:同+2.5%）。

PCE価格指数の推移



消費者物価指数の推移



ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

①計算方法：CPIはラスパイレス指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパイレス指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。

（注）コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

（資料）米商務省「PCE価格指数」2024年9月27日公表

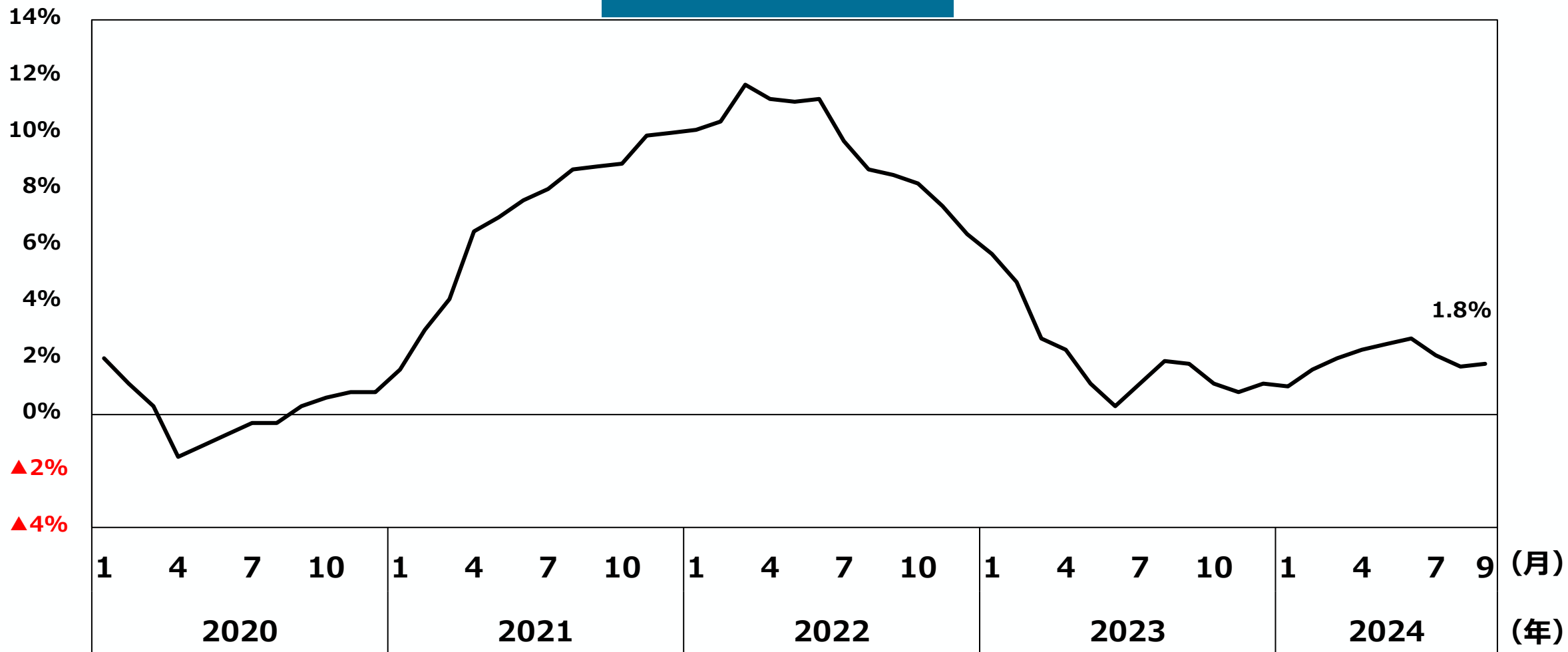
（注）コアは食料、エネルギーを除く。

（資料）米労働省「消費者物価指数（CPI）」2024年10月11日公表

米国 物価②

- 24年9月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+1.8%と、前月（同+1.7%）から上昇した。

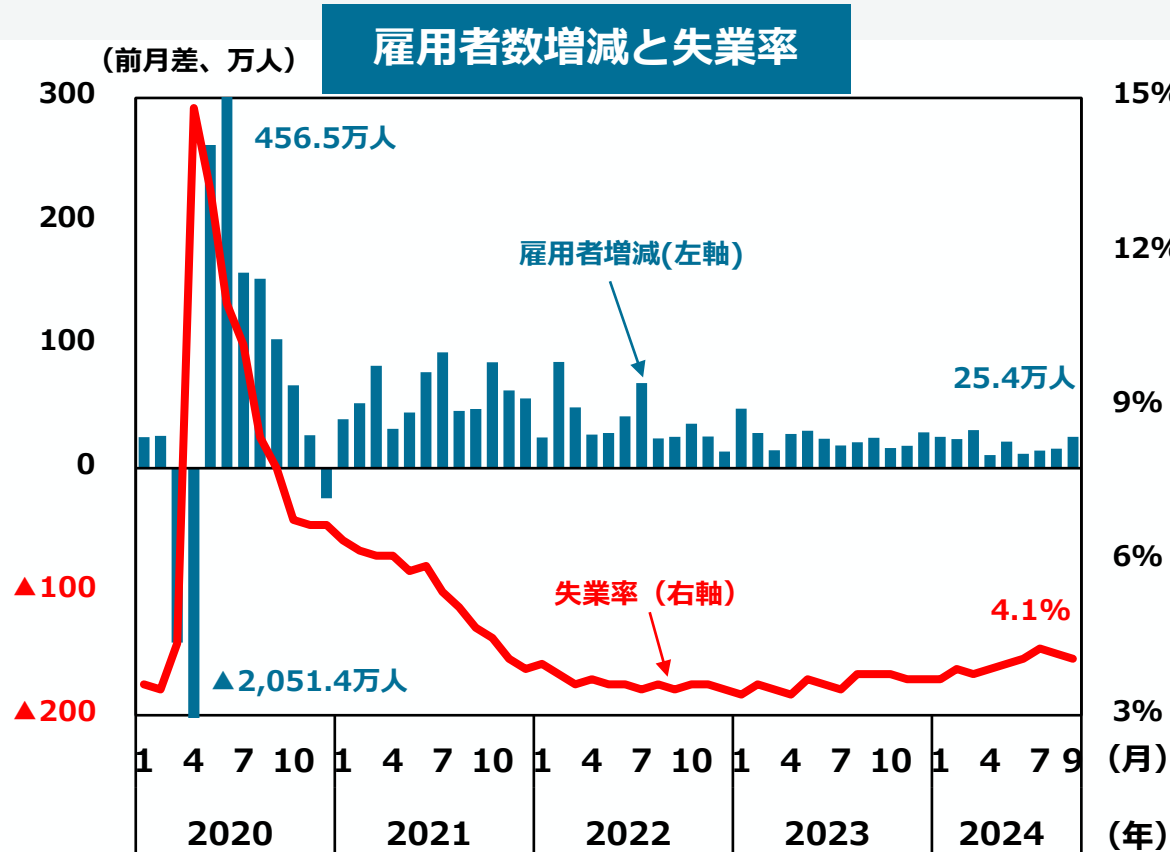
PPIの推移



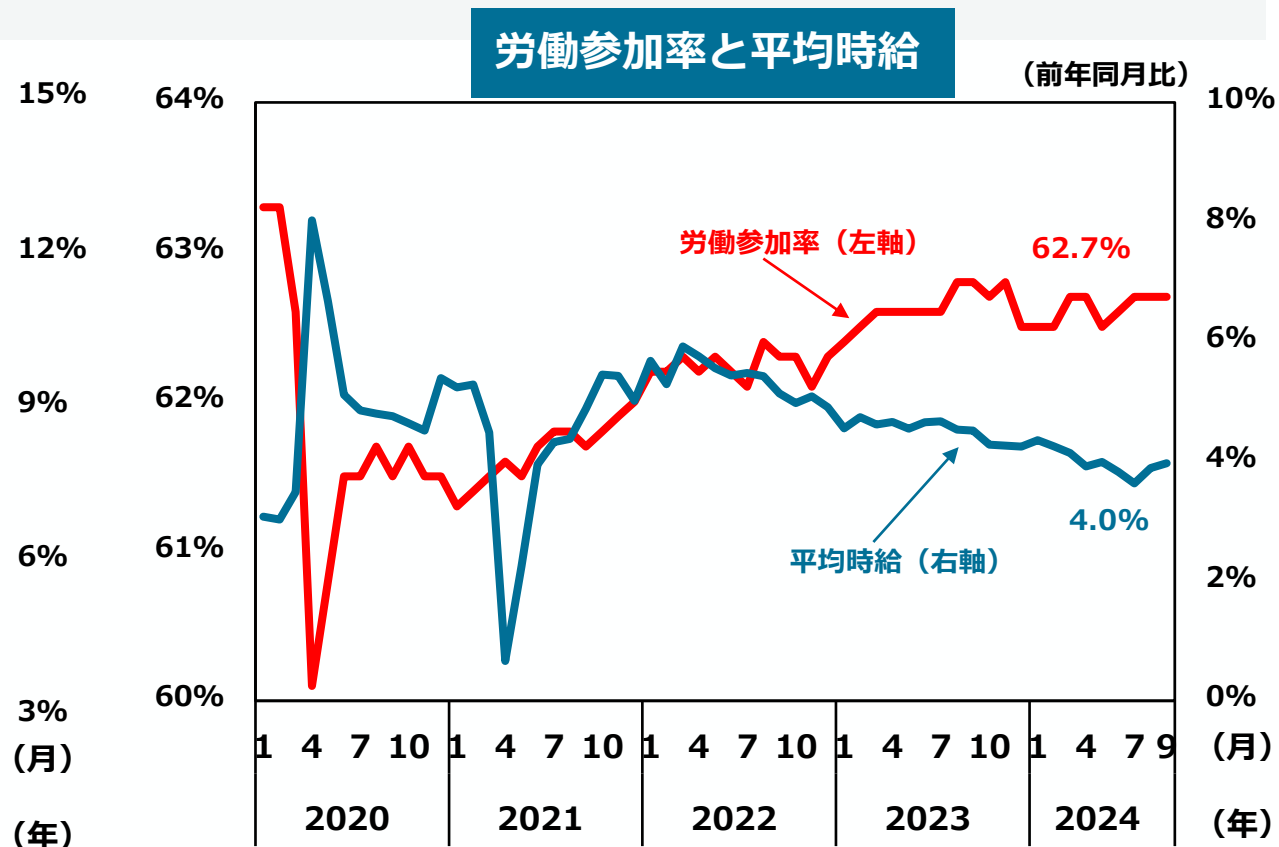
(資料) 米労働省「卸売物価指数」 2024年10月11日公表

米国 雇用

- 24年9月の非農業部門雇用者数は前月差+25.4万人と、前月（同+14.2万人）から改善。
- 失業率は4.1%と、前月（4.2%）から改善。
- 平均時給は前年同月比+4.0%となり、労働参加率は62.7%となった。



(注) 季節調整値
 (資料) 米労働省 2024年10月4日公表

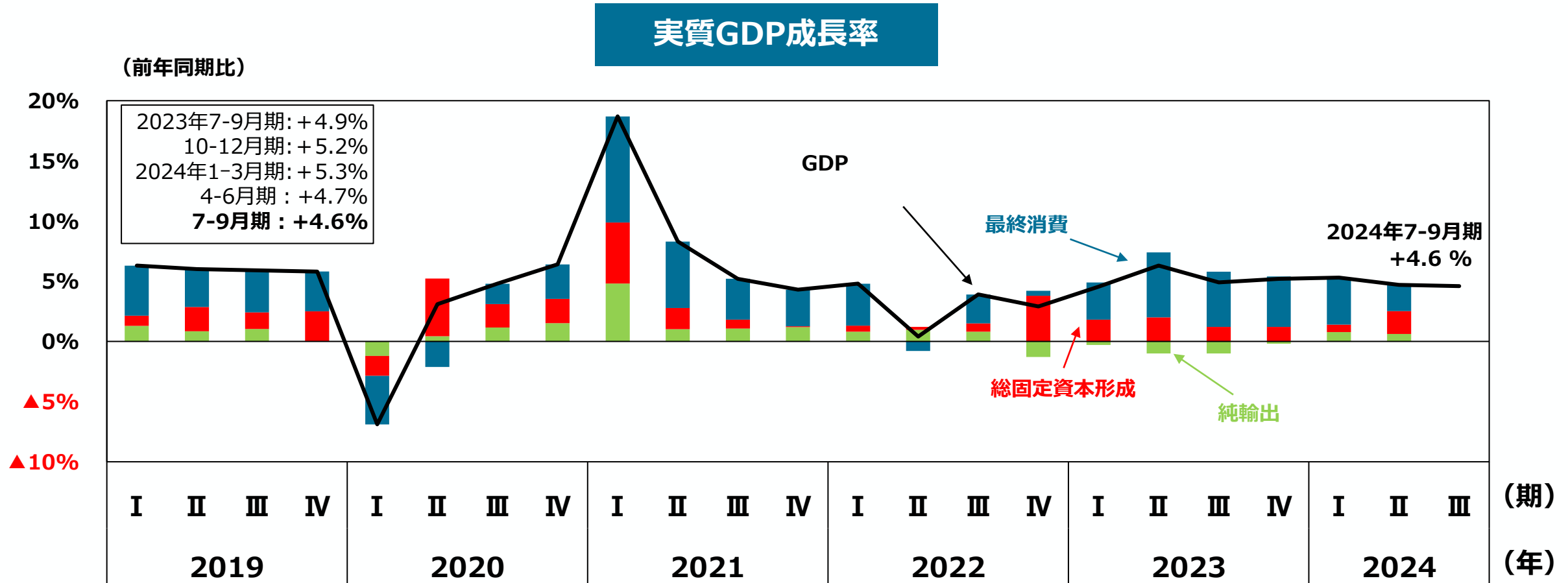


(注) 季節調整値
 (資料) 米労働省 2024年10月4日公表

- 日本經濟
- 米國經濟
- 中國經濟
- 歐州經濟

中国 GDP

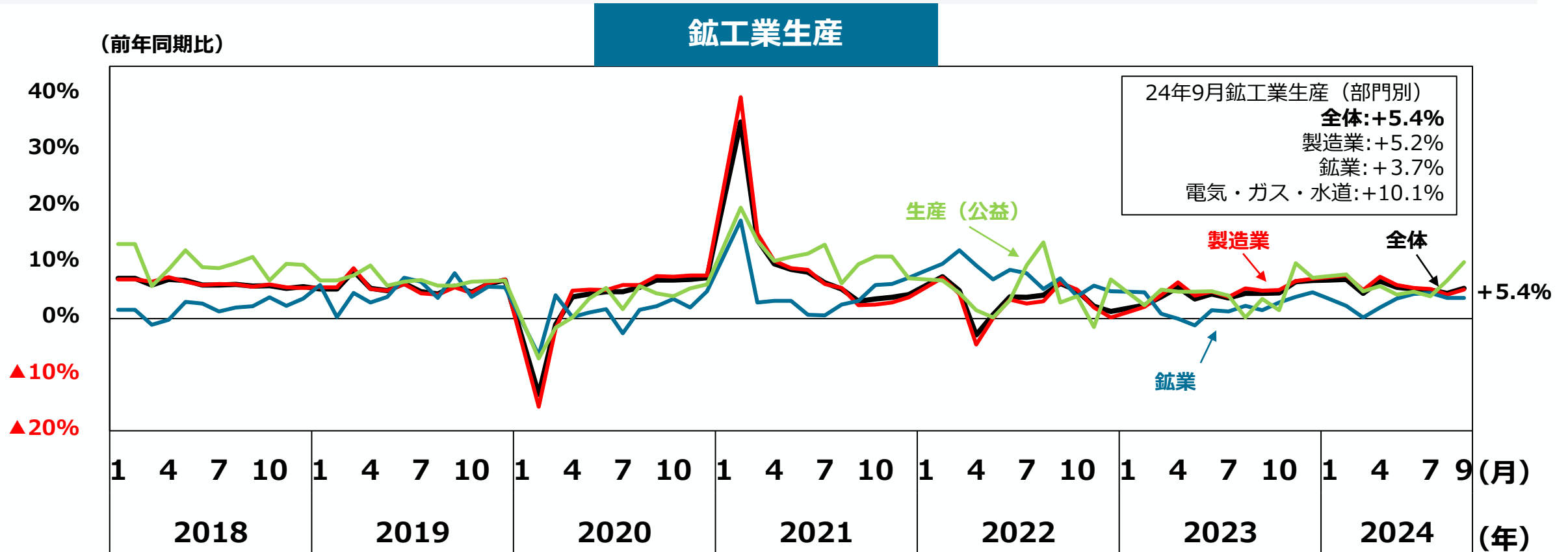
- 24年7-9月期の実質GDP成長率は、前年同期比+4.6%と前期（同+4.7%）から減速した。



(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年10月18日公表
 (注) 総固定資本形成: 住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。
 2024年10月18日時点で、直近の四半期別寄与度は未公表。

中国 生産

- 24年9月の鉱工業生産は、前年同期比+5.4%と前月（同+4.5%）から加速した。
- 製造業の生産は前年同期比+5.2%（前月：同+4.3%）、電気・ガス・水道は同+10.1%（前月：同+6.8%）と加速し、鉱業は同+3.7%（前月：同+3.7%）と伸びが横ばい。

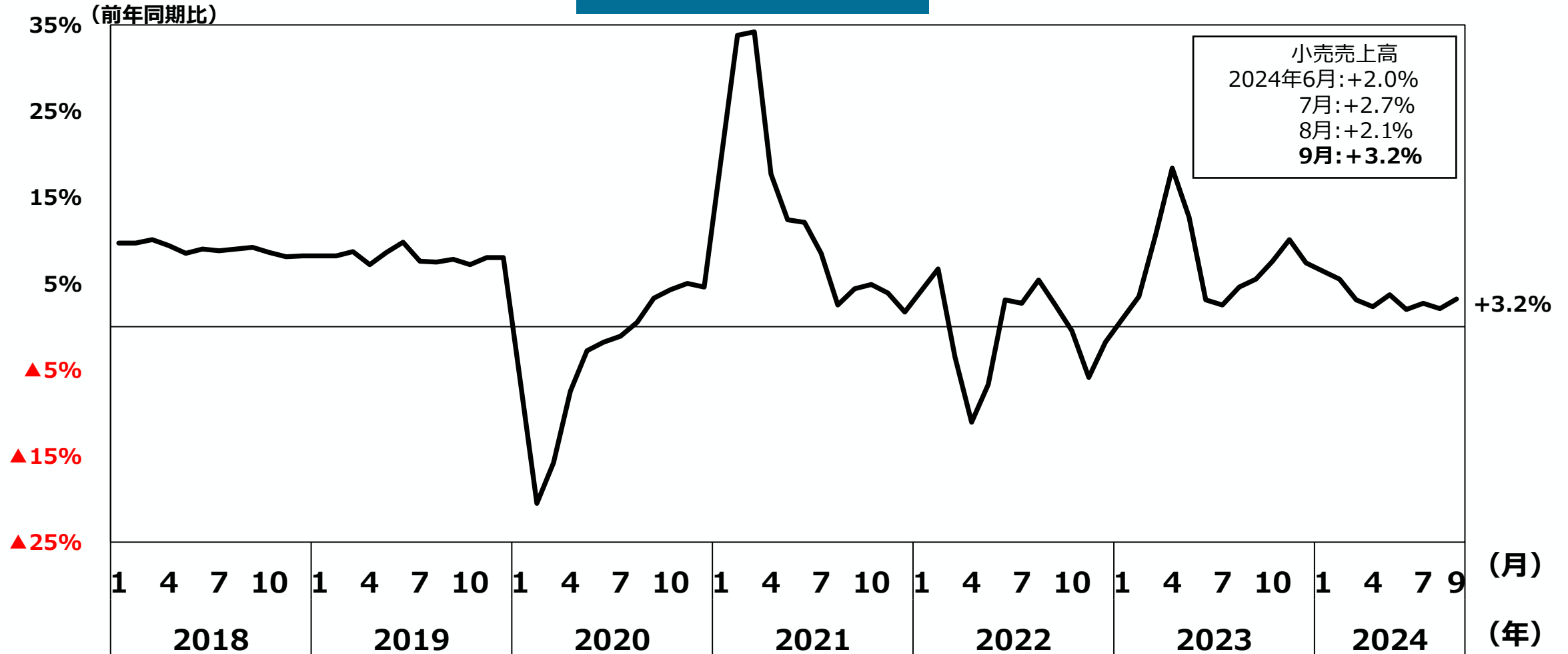


(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年10月18日公表

中国 消費

- 24年9月の名目小売売上高は、前年同月比+3.2%と、前月（同+2.1%）から加速。

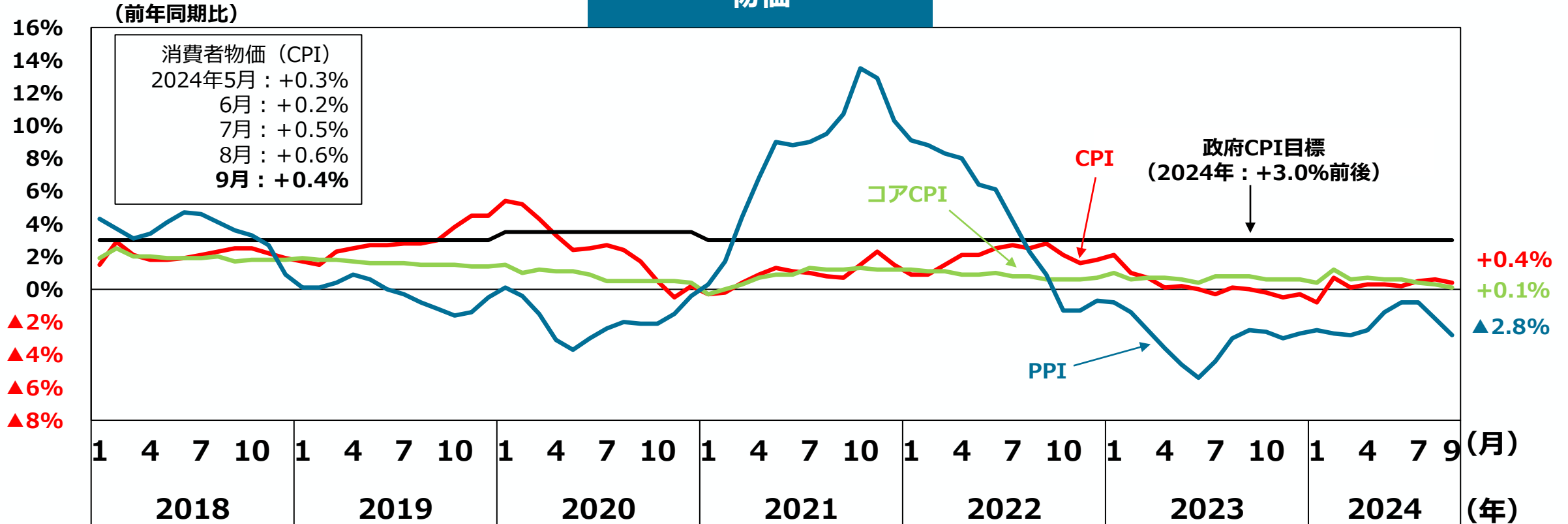
小売売上高



中国 物価

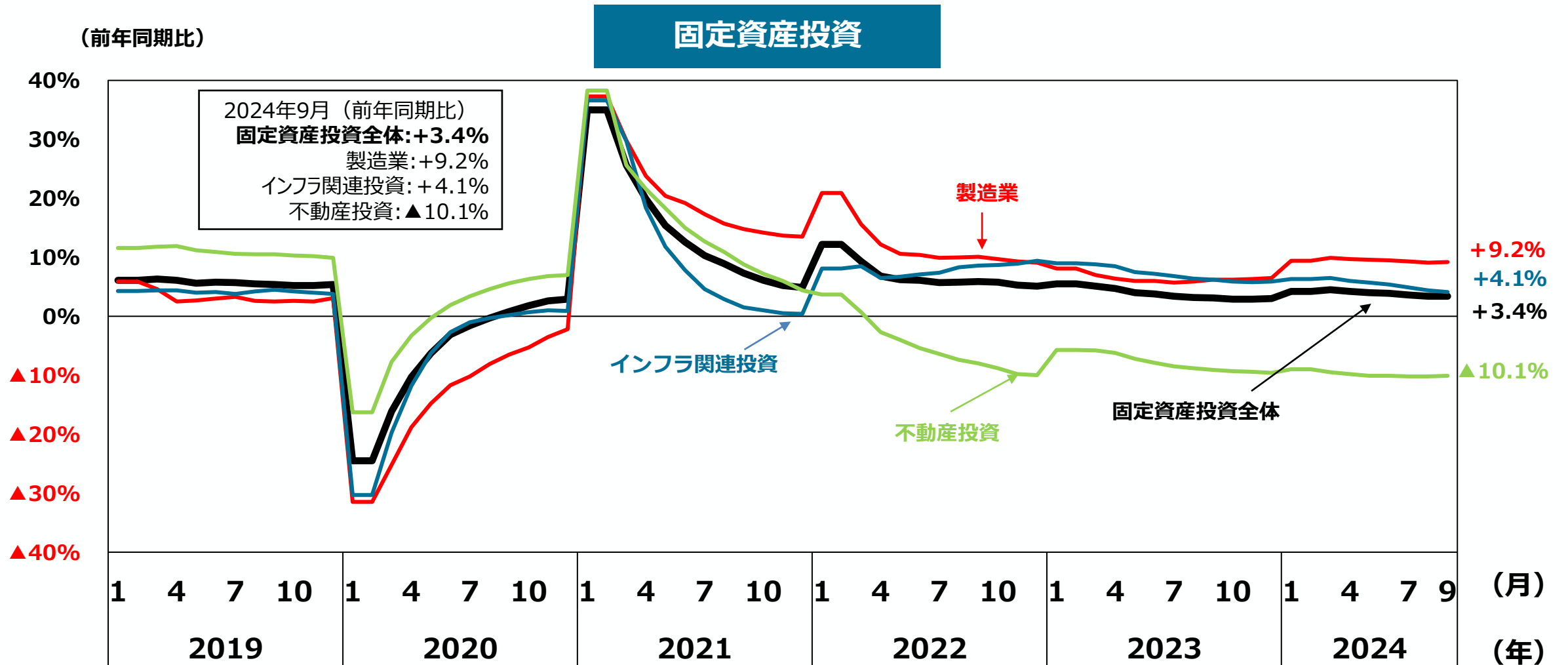
- 24年9月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比+0.4%（前月：同+0.6%）。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲2.8%（前月：同▲1.8%）と、24ヶ月連続のマイナス。

物価



中国 固定資産投資

- 24年9月の固定資産投資は年初来前年比（注）+3.4%と、前月（同+3.4%）と伸びは横ばい。



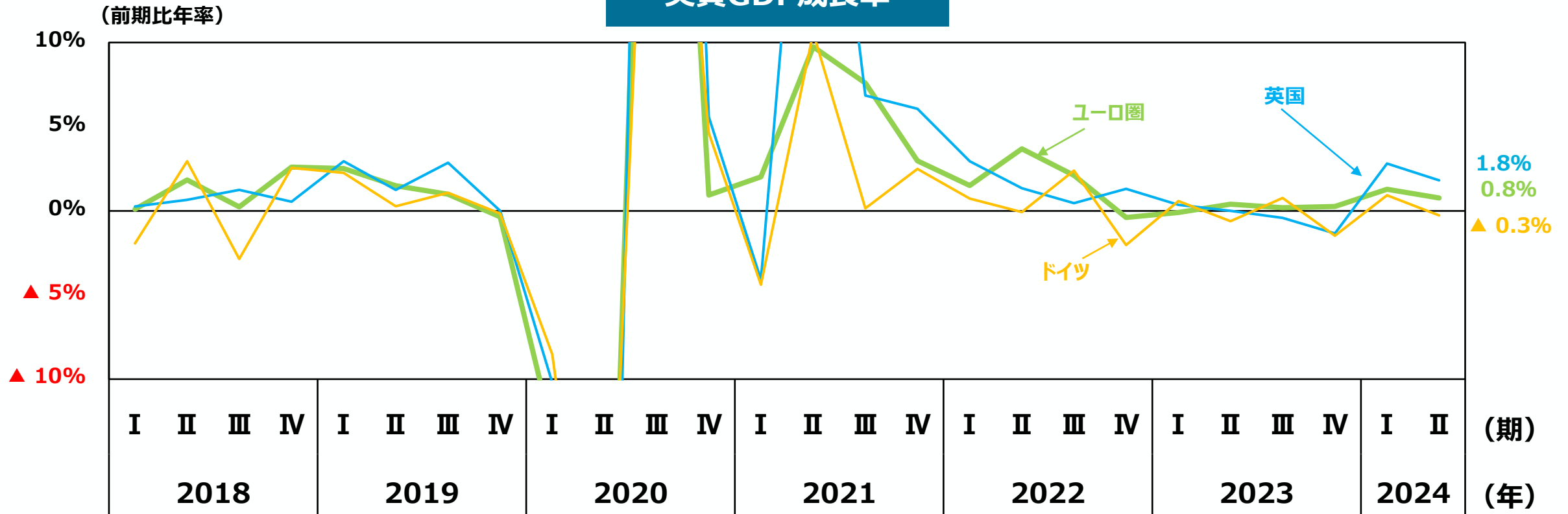
(注) 年初来前年比：1月から当月までの累計の前年比
 (資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年10月18日公表

- 日本經濟
- 米國經濟
- 中國經濟
- 歐洲經濟**

欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の24年4-6月期GDP（確報値）は前期比年率+0.8%と、5四半期連続のプラス成長。
ドイツ24年4-6月期GDP（確報値）は同▲0.3%と、2四半期ぶりのマイナス成長。
- 英国の24年4-6月期GDP（確報値）は前期比年率+1.8%と、2四半期連続のプラス成長。

実質GDP成長率

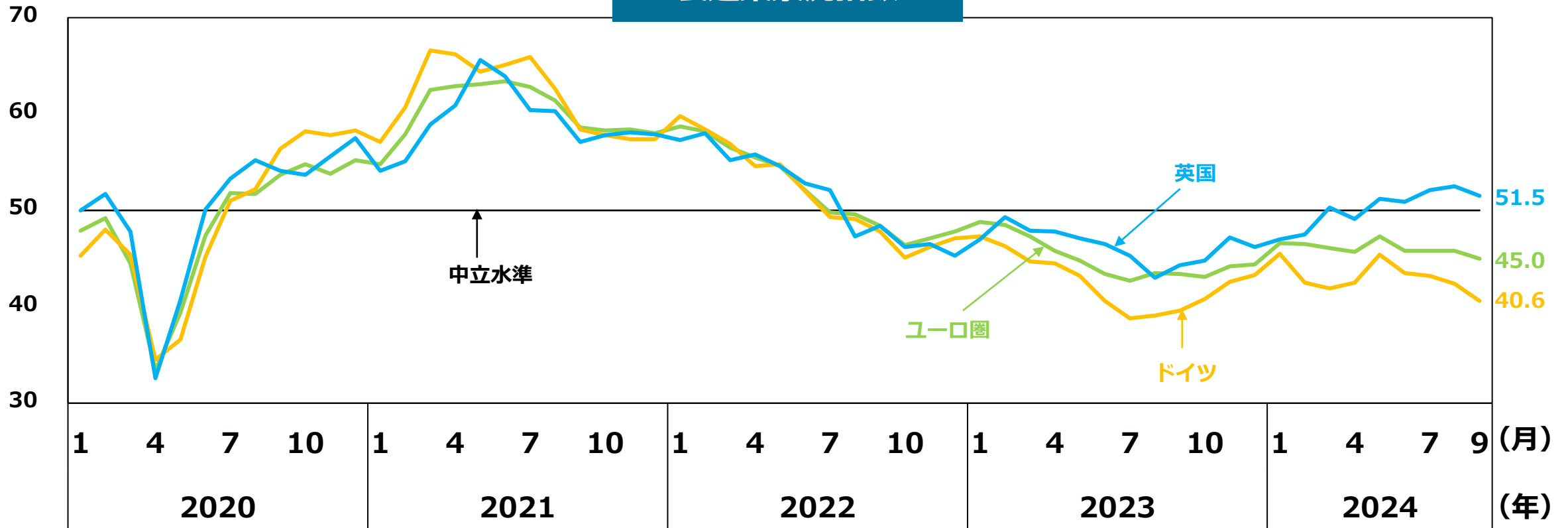


(資料) ユーロ圏：欧州委員会統計局 2024年9月6日公表（2Q確報値）
英国：英国国家統計局 2024年9月30日公表（2Q確報値）

欧州 製造業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の9月の製造業景況指数は、45.0と前月（45.8）から低下。
- ドイツの9月の製造業景況指数は、40.6と前月（42.4）から低下、英国も51.5と前月（52.5）から低下。

製造業景況指数

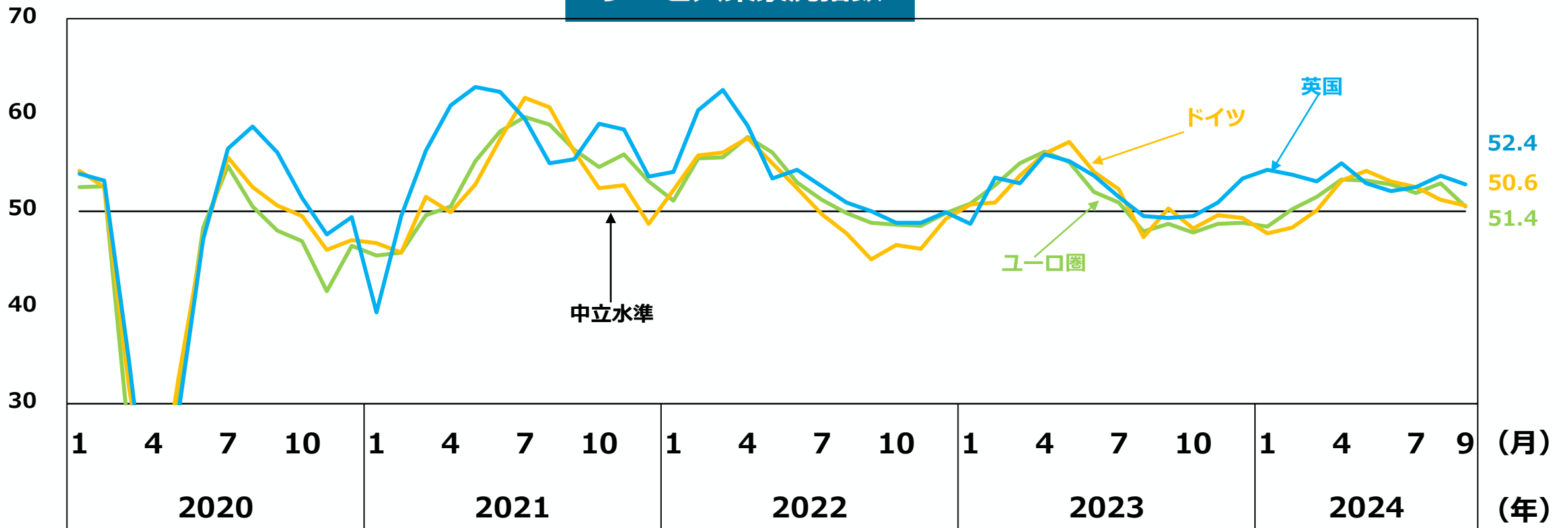


(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。
(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年9月30日公表（確報値）

欧州 サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の9月のサービス業景況指数は、51.4と前月（52.9）から低下。
- ドイツの9月のサービス業景況指数は、50.6と、前月（51.2）から低下、英国も52.4と前月（53.7）から低下。

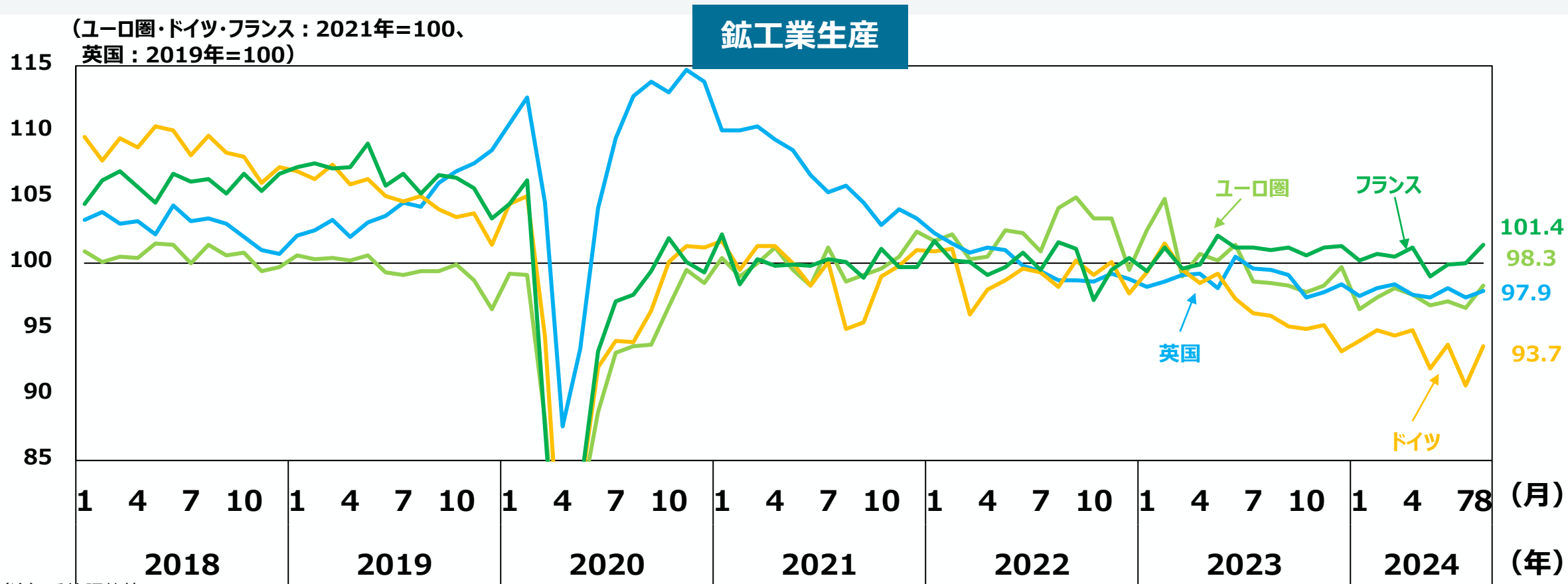
サービス業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。
(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年10月3日公表（改定値）

欧州 生産

- ユーロ圏の8月の鉱工業生産指数は前月比+2.1%と、2ヶ月ぶりの上昇。
国別で見ると、ドイツは同+3.3%、フランスは同+1.4%といずれも上昇。
- 英国の8月の鉱工業生産指数は前月比+0.5%と、2ヶ月ぶりの上昇。



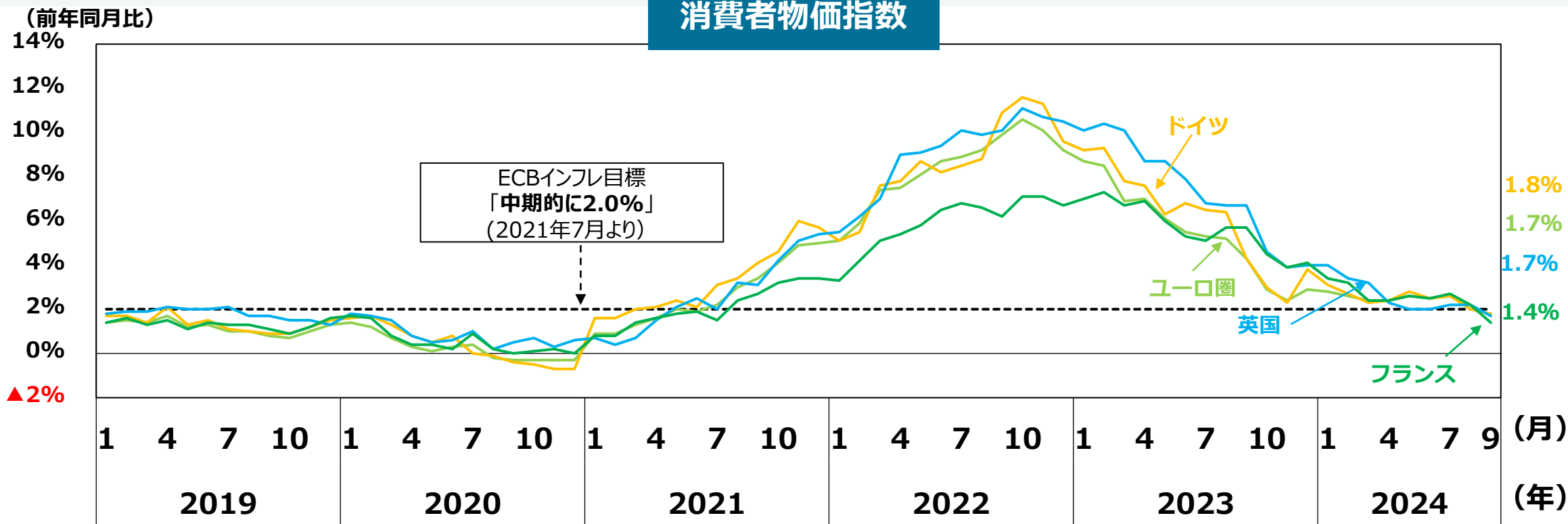
(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2024年10月15日公表、英国国家統計局 2024年10月11日公表

欧州 物価①

- ユーロ圏の9月の消費者物価（HICP、速報値）は、前年同月比+1.7%と、前月（同+2.2%）から低下。国別では、ドイツが同+1.8%（前月：同+2.0%）、フランスが同+1.4%（前月：同+2.2%）と共に低下。
- 英国の9月の消費者物価（CPI）は、前年同月比+1.7%と、前月（同+2.2%）と低下。

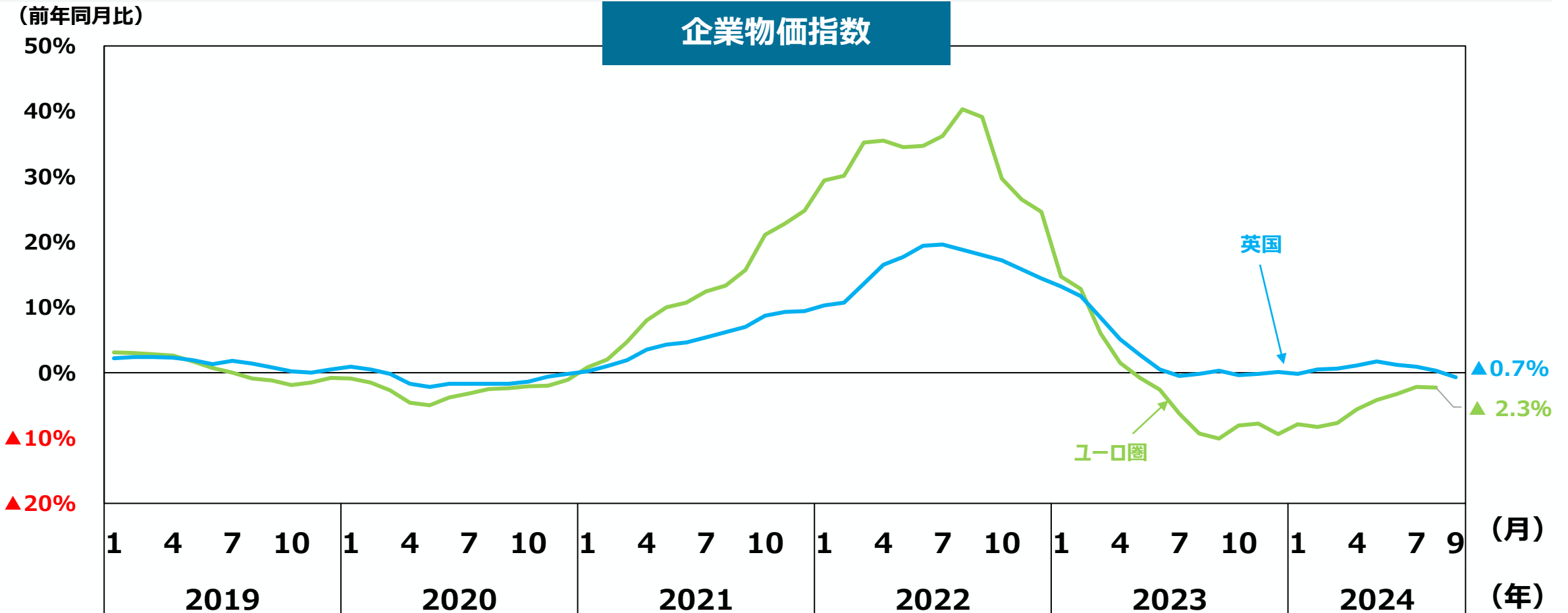
消費者物価指数



(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州委員会統計局 2024年10月17日公表 (改定値)
英国：英国国家統計局 2024年10月16日公表

欧州 物価②

- ユーロ圏の8月の企業物価指数は、前年同月比▲2.3%（前月：同▲2.2%）。
- 英国の9月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比▲0.7%（前月：同+0.3%）。

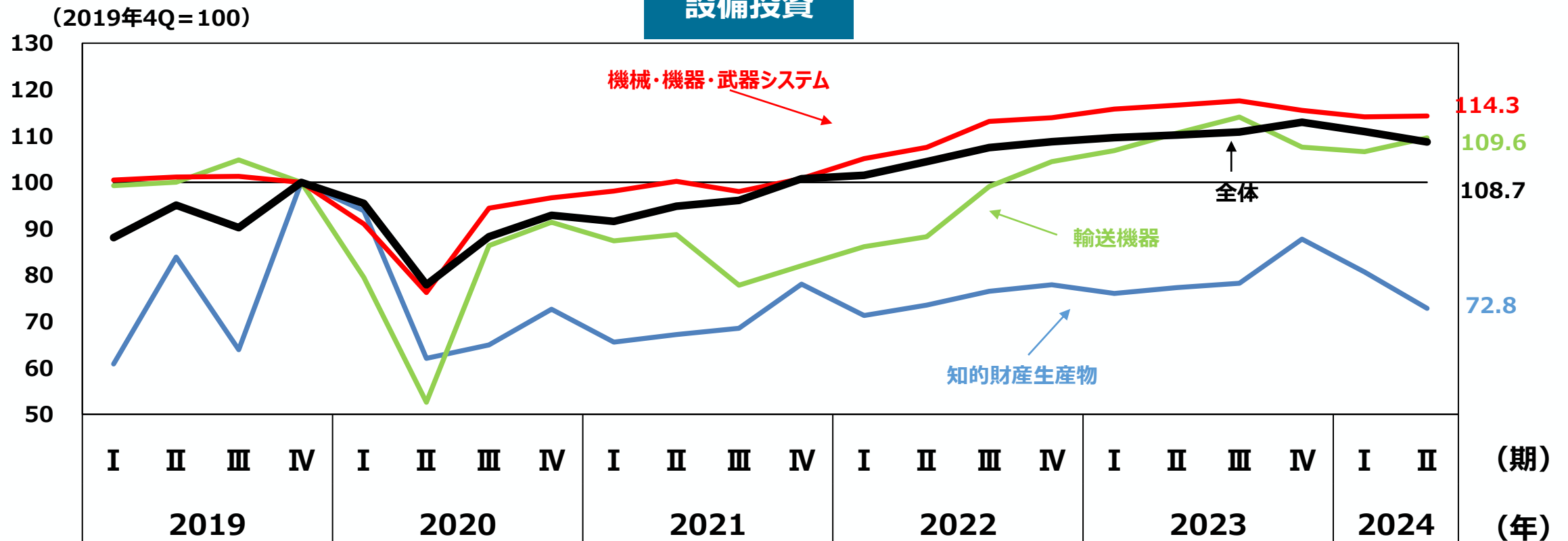


(資料) 欧州委員会統計局 2024年10月4日公表
英国国家統計局 2024年10月16日公表

欧州 設備投資

- 24年4-6月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体で+8.7%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+14.3%、輸送機器は+9.6%、知的財産生産物は▲27.2%。

設備投資

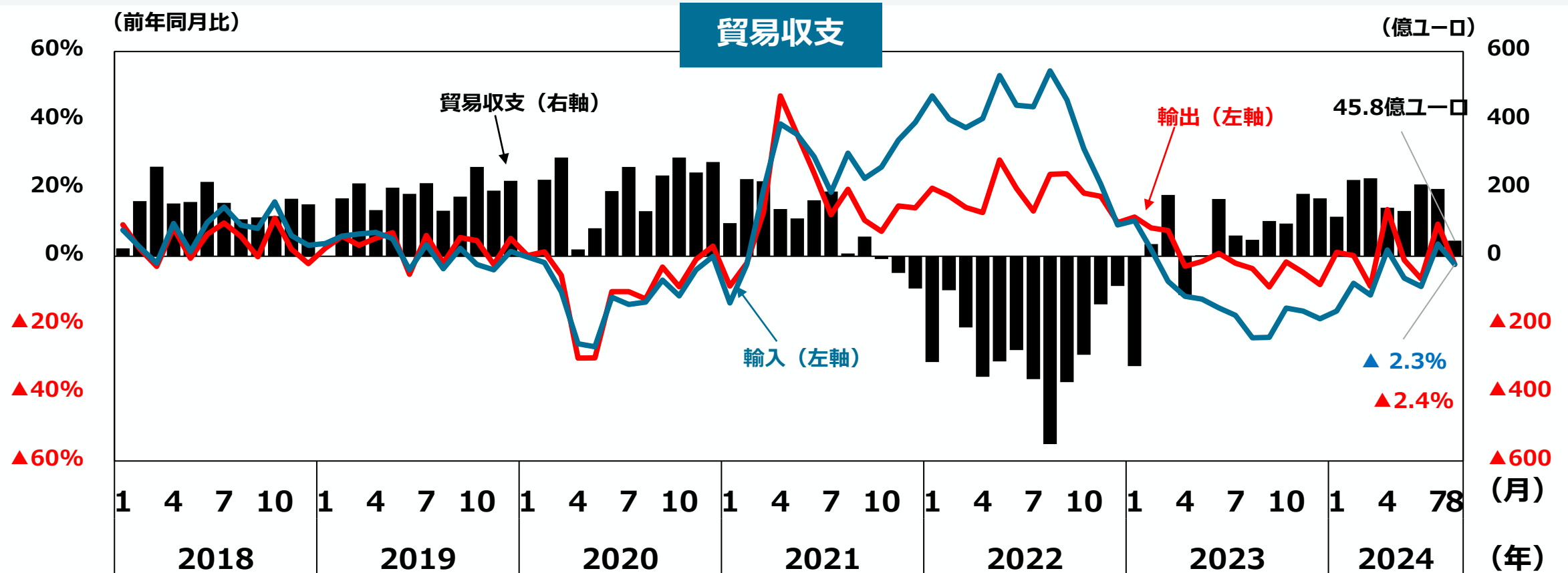


(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2024年9月6日公表 (2Q確報)

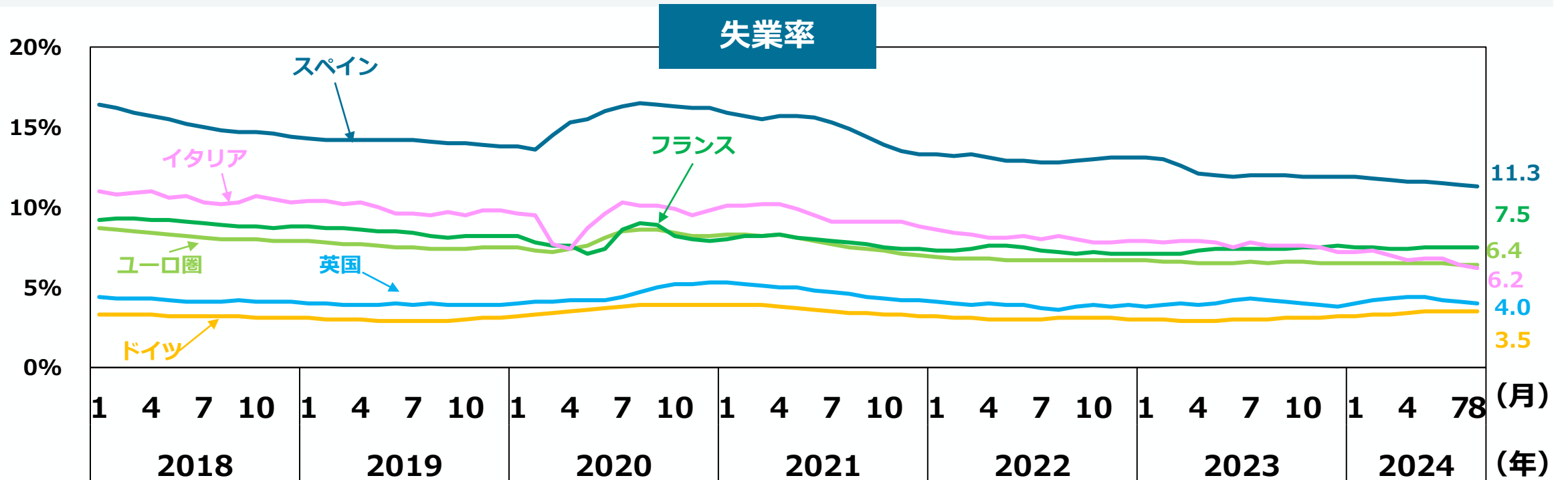
欧州 輸出入

- ユーロ圏の8月の輸出額（2,167億ユーロ）は、前年同月比▲2.4%、輸入額（2,121億ユーロ）は、同▲2.3%。
- 貿易収支は+45.8億ユーロと、16ヶ月連続の黒字。



欧州 雇用

- ユーロ圏の8月の失業率は6.4%と、前月（6.4%）と横ばい。
- 国別では、ドイツ（3.5%→3.5%）、フランス（7.5%→7.5%）は横ばい、イタリア（6.4%→6.2%）、スペイン（11.4%→11.3%）は低下。
- 英国の8月の失業率は4.0%と、前月（4.1%）から低下。



(注) 季節調整値、英国は3ヶ月後方移動平均値
 (資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州委員会統計局 2024年10月2日公表
 英国：英国国家統計局 2024年10月15日公表